

第 5 号様式


松戸市市民活動実績報告書

平成 24 年 3 月 15 日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市小金原 4-34-18

団体名 デフィブリーるの会

代表者氏名 会長  
森本 文雄 

平成 23 年 4 月 1 日付け松戸市指令第 266 号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第 11 条第 1 項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙 1
- 領収書等 . . . 別紙 2

## 活動状況報告書

1. 事業名称 ※ 事業名称を記載してください。

「AEDの正しい使用法を広めたい」事業

2. 実施主体

■ 団体名: ※ 団体名を記載してください。

デフィブリーアの会

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

### I AEDを知って貰う活動

日付	作業内容
6月12日	聖徳大学楽習フェアAED体験会
7月9、30日	松戸市Let's体験プレゼン、
8月9、10日	献灯祭りAEDブース設営と体験会
8月27日	Let's体験講習会、体験会
10月29日	自衛隊(元山)祭りAED体験コーナー設置とPR
10月29日(2班体制)	栄幼稚園バザーでAED体験コーナー設置。親に知って貰い、子供には刷り込み。
24年1月28日	北部小学校PTAバザーで体験コーナー設置とPR

### II AEDの正しい使い方を広げる場づくり

日付	作業内容
6月16日	常盤平第2小学校PTA「家庭教育学級」体験会20名
8月20日	非医療従事者に対するAED普及啓発シンポジウム参加
9月25日	「いぶきの広場でAED設置に伴い体験会開催
10月21日	当会名誉会長川口日出旺森のホールコンサートでAEDプレゼン
10月23日	サッカー松田選手事故に伴い、キックボクシングジムでAED講習会
11月16日	相模台小学校PTA「家庭教育学級」体験会 23名
24年1月24日	北部小学校PTA「家庭教育学級」体験会とリーダーづくり 14名
2月11、18、25日	キャラバン見本市、六実・馬橋・常盤平 AED体験コーナー
2月17日	旭神経内科にてAED講習会
3月10日	松戸市市民活動見本市参加、桑野医師講演

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

①幼稚園、小学校の園児、学童に見せることや、PTAでの普及啓蒙活動は進んでいる。課題はPTAの「家庭教育学級」の実例として紹介はされるが、講座の選定は各学校に

委任されていて「共通のカリキュラム」にならない。従って個々の学校PTAに理解を得る必要がある。

- ②新規にキックボクシングジム「ROOTS」、「いぶきの広場」、聖徳大学からオファーがあり実施。良い事例となった。
- ③献灯祭りへの参加の道が開けた。
- ④旭神経内科での医師による講演会は新しい場面づくりとして価値がある。

## (2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

- ①PTA「家庭教育学級」への浸透は44分4 残り40校
- ②新規の団体、個人への対応はほぼ実施できた。
- ③献灯祭りへの参加は収穫。
- ④旭神経内科での医師による講演会は、今後の実績として活用したい。

## 5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

- ①AEDの課題は「AEDを使える人を増やすための方策を考える」に移った。  
そのために、「非医療従事者へのAED普及啓発」が急務となっている。  
「一歩前に入る勇気を！」を・・・キャッチコピーとして。  
その上で、「出前講習会」の請負をすすめる。PR法として
  - 1) ポスター作製・貼付け（人の集まる場所、スーパー、病院、薬局などに）
  - 2) 会のパンフ作成配布（市民センター、クリニック、薬局、スーパーなどで）
  - 3) ミニコミ紙などに露出させる。（例；ニューファミリー新聞3月号など）
  - 4) 他団体の機関紙上での話題提供（他団体とのコラボ）
- ②市内のAED設置台数は347台（23年12月現在）。ほかにレンタルあり。  
昨年、市内でAEDが設置場所外に持ち出されたケースは15例、内通電されて救命に至ったケースは2例と聞く。松戸市内で年間200ケース心肺停止者が発生することを思えば我が松戸は1%の使用例である。全国ベースの2%に及ばない。  
これの改善に寄与したい。
- ③社会的には一次救命処置でAED教育（中学2年生のカリキュラムに2時間授業で）が取り入れられる方向で進んでいる。
  - 1) 幼児期から抵抗感を払拭してもらう為に対象児童にAEDを触れてもらう。
  - 2) スタンバイザー（倒れた人の側にいる人）の可能性の高いお母さんや女性への啓発を続け、子供さんの役割についても伴って考えてもらう。
- ④私たちの団体のみでは出来ないが、24時間AEDを持ち出せる体制づくりを考える。
  - ・コンビニ設置
  - ・交番設置
  - ・市民センターでの置き場所を改善。など

以上

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	繰越金	¥ 109,632	¥ 109,632	¥ -	
	寄付金	¥ 90,368	¥ 25,404	¥ -64,964	
				¥ -	
	利息		38	¥ 38	
	自己資金合計額 (a)	¥ 200,000	¥ 135,074	¥ -64,926	
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0 -	精算額
	資金合計額 (c) (a+b)	¥ 300,000	¥ 235,074		

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 パンフレットなど製作費	¥ 40,000	¥ 52,500	¥ -12,500	
	2 AED及び人形レンタル料	¥ 50,000	¥ 54,810	¥ -4,810	AEDに変えスクリーン
	3 講師謝礼	¥ 30,000	¥ 10,000	¥ 20,000	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 120,000	¥ 117,310	¥ 2,690	
その他経費	会議、管理費など	¥ 60,000	¥ 24,155	¥ 35,845	
	備品代	¥ 120,000	¥ 77,124	¥ 42,876	毎年見送り
	印刷・事務費	¥ -	¥ 16,485	¥ -16,485	
	その他経費合計額 (e)	¥ 180,000	¥ 117,764	¥ 62,236	
	事業費 (f) (d+e)	¥ 300,000	¥ 235,074	¥ 64,926	

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額                      ¥                      0 -
---

団体名                      デフィブリーるの会  
 代表者氏名                  森本文雄



## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
繰越金	¥ 109,632	/	
寄付金	¥ 25,404	/	森のホールコンサート時など
利息	¥ 38	/	銀行、ゆうちょ
自己資金合計額	¥ 135,074	/	
市助成金額	¥ 100,000	/	
収入合計額	¥ 235,074	/	

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1 パンフレット、ポスター印刷費	¥ 52,500	(パンフ3000*7.7) + (ポスター1000*15) + デザイン料 見本市配布用400、イベント用1500、ほか1100、市民センター貼付60 会員貼付 300 他 200	
	2 AED・人形レンタル料	¥ 54,810	人形 19,530円*1回*2回 スクリーン 1,575円*1回*10回 人形：イノメディクス、スクリーン；ノエビア高砂販売	
	3 講演料謝礼	¥ 10,000	一回*1時間 くわのクリニック・桑野雄介医師	
	対象となる経費合計額	¥ 117,310	/	
その他経費	会議・管理費	¥ 24,155	/	総会一人1500円*10名、イベント弁当500円*6名*2回など
	印刷・事務費	¥ 16,485	/	インク、用紙、コピー代、デモ用マット、乾電池など
	備品など	¥ 77,124	/	プロジェクター電球、スキャナーなど
	その他経費合計額	¥ 117,764	/	
支出合計額	¥ 235,074	/		



第 5 号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成 2 4 年 3 月 26 日

松戸市長

住所(所在地)松戸市馬橋 5 2 2 - 6

団体名 松戸里やま応援団 一起の会

代表者氏名 佐竹 道の



平成 2 3 年 4 月 1 日付け松戸市指令第 267 号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第 1 1 条第 1 項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙 1
- 領収書等 . . . 別紙 2

# 活動状況報告書

1. 事業名称 八ヶ崎の森再生整備事業

2. 実施主体

団体名: 松戸里やま応援団 一起の会

3. 事業の実施内容

## 3-1 再生整備工事

- ・土留め柵の杭を防腐杭で補強する工事は4月で終了した。斜面全体の「地ごしらえ」も5月で完了した。
- ・遊歩道は、6月中旬で第2期エリアまで設置した。地権者の了承を取り付けていない部分を除き、斜面から立ち上がる周遊路階段まで完了した。

## 3-2 植樹イベント

- ・6月18日第2期エリアで第2回植樹祭を開催した。38名が参加し内26名の一般市民参加があった。
- ・3月11日第3回の植樹祭を実施し、当初計画の植樹エリアへの植栽を完了した。  
雨で1日順延し、20名参加し内一般市民は9名と少なかったが、多くの樹種・苗木を精力的に植樹した。

## 3-3 保育園児の受入れ

- ・前期「地ごしらえ」の最中で安全確保が困難として中止していた園児受入れを再開した。
- ・5月25日園児38名を招き、『植樹祭り』と『森で遊ぼう会』を実施した。
- ・10月26日園児39名を招き、前回同様植樹のお手伝いや森の中での遊び会で楽しんでもらった。

## 3-4 観察会受入れ

- ・7月13日里やま応援団グループのステップアップ講座を森の中で開催した。  
座学で再生整備の経緯と現状や課題を共有してもらい、森の中を案内した。
- ・12月11日緑ネット観察会が当森を視察、参加70名の市民に再生整備事業を説明し共感をもらった。

4. 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

H22年度より継続して市民活動助成対象事業の指定を受け、伐採された『八ヶ崎の森』の斜面を単なる復旧でなく、『地域に親しまれる森への再生』を目的にしてこの2年間、以下のことを念頭に取り組んできた。

- ・再生整備の進め方: 斜面の地ごしらえ、植栽計画、遊歩道設置を通じて、地域に親近感

を持ってもらえる森づくり。

・地域社会との共存：近隣住民の活動への参加、音楽会・自然観察会などのイベントを通じて、永く地域と共存できる森にしていく。

1) 地ごしらえ

伐採された斜面を、崩落防止と散乱した伐木・枝葉の集積場を兼ねた木柵を、2列配置し3層の植栽エリアをつくった。

2) 植栽計画

伐採前の常緑高木中心だった樹種から、出来るだけ花実をつけて小鳥・小動物が集まる樹種の苗木を選び、住宅隣接地域の下段には低木花木そして上の段に向けて中高木の樹木苗を配置し、日照や景観に配慮した植栽を実施してきた。

3) 遊歩道設置

今後の樹木管理や自然観察に適した遊歩道を一部杭とロープで設置し、また森全体を周遊できる遊歩道を設置中です。(設置計画を変更するため完成を延期した)

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

「再生整備事業」は昨年度より市民活動助成事業として今年度継続助成を受け、今期は整備面で仕上げの年として鋭意取り組んできた。

3回の植樹イベント、2回の近隣保育園児を迎えての植樹会や市民の自然観察会受入れ等を通して、地域の方々に再生への関心と親近感を深めることが出来た。

この森は、複数の地権者からなる民有地で、「ボランティア活動が認められていない地域」が一箇所残っており、今後の森の整備や活用面で大きな課題だった。

周遊する遊歩道設置にはどうしてもこの地域を通過する必要があるため、市当局(みどり花課)に解決支援を依頼してきたが、市の支援で2月中旬地権者から「立ち入りと管理について了承」が得られました。

これにより、『再生整備計画』を再度見直し「立ち入り禁止区域」を含めた八ヶ崎の森全体の保全活動と活用が出来るようになりました。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

1) 地域に根付く森づくり

植樹イベントを通じ地域との距離を縮めることが出来たと思うが、今後さらに関心を持ってもらうために、できるだけ開放し住民参加イベントを企画していく。

2) 植栽樹木の成育フォロー

植樹している苗木は1m程度の幼木で、生育するまで長期にわたり水遣りや除草が欠かせない。昨夏は暑さと乾燥で枯れた苗木の補充も欠かせなかった。

3) 「立ち入り禁止区域」だったエリアを『再生整備計画』に織り込む。

遊歩道通過地区の整備のみならず、伐採エリアの植樹や間伐等森全体の整合化を図る。

以上



## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	繰越金	¥ 40,000	¥ 51,183	¥ -11,183	
	年会費	¥ 30,000	¥ 22,500	¥ 7,500	3名退会 2名休会
	自己資金合計額 (a)	¥ 70,000	¥ 73,683	¥ -3,683	
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
資金合計額 (C) (a+b)		¥ 170,000	¥ 173,683	¥ -3,683	

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 土留め柵補強、遊歩道設置	¥ 75,000	¥ 85,474	¥ -10,474	
	2 苗木・幼木購入	¥ 50,000	¥ 34,944	¥ 15,056	
	3 植樹祭ほかイベント経費	¥ 30,000	¥ 46,855	¥ -16,855	
	4 機器賃借料	¥ 15,000	¥ 6,410	¥ 8,590	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 170,000	¥ 173,683	¥ -3,683	
その他経費		¥ -		¥ -	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (e)	¥ -	¥ -	¥ -	
事業費 (f) (d+e)		¥ 170,000	¥ 173,683	¥ -3,683	

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

¥

-

団体名 松戸里やま応援団一起の会  
代表者氏名 佐竹 道の

## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
繰越金	¥ 51,183		
年会費	¥ 22,500	現在15名入金	会員会費 3名6/23退会、2名休会
自己資金合計額	¥ 73,683		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 173,683		

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
○ 助成金の交付 対象経費	1 土留め柵補強、遊歩道設置	¥ 85,474	地ごしらえ及び遊歩道設置杭とロープ 1-①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪
			¥2,380 地ごしらえ1-①のカケヤ
			¥83,094 遊歩道防腐杭34本1-② 10本1-⑤ 10本1-⑥ 防腐杭1-⑦ 1-⑧ 31本1-⑨ 91本1-⑩ 遊歩道 ロープ4個1-③ 1-④1個 1-⑦ 1-⑩4個
	2 苗木・幼木購入	¥ 34,944	¥34,944 樹木購入2-①②
	3 植樹祭ほかイベント経費	¥ 46,855	植樹イベント 3-①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮
			¥3,818 ショベル21個 移植コブ20個 3-① 2,058 3-② 1,760
			¥3,789 殺虫剤3個 蚊取線香2個 3-③ 2,793 3-⑨ 996
			¥470 イベントコブ イベントコブ 3-④⑦ 320 3-⑬ 150
			¥1,155 子供手袋9個 プラスティック袋 3-⑤ 945 3-⑥ 210
			¥7,173 紙コップ 茶菓子 飲み物他 3-⑧⑫ 601 3-⑩⑬ 4,018 3-⑪ 2,554
		¥30,450 来客用ヘルメット 3-⑭	
4 機器賃借料	¥ 6,410	¥5,000 発電機ほか賃借料4-① ¥1,410 刈払機燃料 4-②	
対象となる経費合計額	¥ 173,683		
その他経費			
その他経費合計額	¥ -		
支出合計額	¥ 173,683		

第5号様式


松戸市市民活動実績報告書

平成24年3月26日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市幸田2-253

団体名 松戸里やま応援団 三樹の会

代表者氏名 代表 末広 英智 印

平成23年4月1日付け松戸市指令第268号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

# 活動状況報告書

1. 事業名称 若者と協働の森づくり

2. 実施主体

■ 団体名: 松戸里やま応援団 三樹の会

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

入会したジュニア会員は、学校が休日の第1土曜日を活動日として、三樹の会アダルト会員と共に、森の保全作業および自然観察を行った。

以下に若者および地域の人たちと行ったイベント報告する。

日付	作業内容
6月26日	金ヶ作町会主催の「金ヶ作まつり」竹細工コーナーを担当し約50人の親子に竹トンボ・竹箸・花器・すだれ等の工作を教えた。
7月25日	サポートセンター主催のLet'体験第一回14名を受け入れ
8月6日	第二回9名受け入れ 6/19:受け入れ団体説明会出席 7/9:マッチングの会出席 23名の中高校生が森の保全作業として竹の伐採、下草刈りを体験した。 昼食時は、流しソーメンを振る舞い喜んでいただいた。
9月26日	近隣の金ヶ作小学校5年生40名先生2名を受け入れ、森の手入れ体験および自然観察を行った。
11月5日	戸定祭 竹細工コーナー担当 高校生のジュニア会員が竹鉄砲を子供たちに教えた。
12月19日	金ヶ作小学校5年生44名先生2名を受け入れ、竹細工・井戸の水汲み体験・竹炭の窯だし体験を行った。
12月26日	ミニ門松作り 地域の人達に呼掛け、10名の参加およびジュニア会員、その友達3名が参加があり、地域との交流を行った。

#### 4. 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

- ・中高生6名のジュニア会員が確保できた。
- ・金ヶ作小学生5, 6年生の作業体験により、ジュニア会員の年齢をさげることの
- ・見通しを得た。
- ・近隣の人、3名が入会した。

##### (2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

地域との交流は、町内会の行事に参加、イベントの開催により十分とは言えないが進展した。

特に、森の垣根作り、森の周囲の清掃作業とに注力した結果、地域の人達から感謝の声掛けがあり、コミュニケーションも進展した。

#### 5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

今後とも、第一土曜日の学校休日はジュニア会員の継続的活動日とする。

夏休み等の長期休暇を利用して、若者に魅力ある、質の高い行事を計画し・参加率を向上させる。

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	年会費	¥ 25,000	¥ 28,000	¥ 3,000	
	入会費	¥ -	¥ 3,000	¥ 3,000	
	緑と花の基金より助成金	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ -	
	イベント協力金	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ -	
	イベント売上金	¥ 155,000	¥ 3,000	¥ -152,000	
	地主様より支援金	¥ 20,000	¥ -	¥ -20,000	
	前期より繰越金	¥ -	¥ 76,614	¥ 76,614	
	自己資金合計額 (a)	¥ 250,000	¥ 160,614	¥ -89,386	
	市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -
資金合計額 (C) (a+b)		¥ 350,000	¥ 260,614		

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 通信費	¥ 20,000	¥ 1,840	¥ 18,160	
	2 保険料	¥ 15,000	¥ -	¥ 15,000	個人負担とした
	3 備品費	¥ 29,500	¥ 40,161	¥ -10,661	
	4 消耗品費(イベント材料費)	¥ 15,000	¥ 27,394	¥ -12,394	
	5 印刷費	¥ 8,000	¥ 22,382	¥ -14,382	
	6 講師謝礼金	¥ 15,000	¥ -	¥ 15,000	会員が講師となった
	7 事務費	¥ -	¥ 2,718	¥ -2,718	
	8 ヘルメット	¥ 22,500	¥ 18,900	¥ 3,600	
	3 備品費				
	対象となる経費合計額 (d)		¥ 125,000	¥ 113,395	¥ 11,605
その他経費	大物備品	¥ 90,000	¥ 73,104	¥ 16,896	
	その他備品消耗品費等	¥ 135,000	¥ 74,128	¥ 60,872	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (e)	¥ 225,000	¥ 147,219	¥ 77,781	
事業費(f)(d+e)		¥ 350,000	¥ 260,614	¥ 89,386	

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	-
-----	---	---

団体名 松戸里やま応援団三樹の会  
代表者氏名 末広 英智



## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
年会費・入会費	¥ 31,000		会員会費・入会者3人
緑と花の基金より助成金	¥ 30,000		
イベント協力金・売上金	¥ 23,000		
前期よりの繰越金	¥ 76,614		
自己資金合計額	¥ 160,614		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 260,614		

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	1 通信費	¥ 1,840	封書23通 ジュニア会員への連絡・新規募集通知
	2 備品費	¥ 40,161	イベント用備品 ノコギリ小刀ハサミ等
	3 消耗品費(イベント材料費)	¥ 27,394	イベント用材料、食材、消耗品等
	4 印刷費	¥ 22,382	プリンターインク、コピー代
	5 ヘルメット	¥ 18,900	イベント用として15ヶ
	7 事務費	¥ 2,718	名札、ケース
	対象となる経費合計額	¥ 113,395	
その他経費	大物備品	¥ 73,104	リヤカー51324. チェーンソー21780
	その他備品消耗品費等	¥ 74,115	
	その他経費合計額	¥ 147,219	
支出合計額	¥ 260,614		

第5号様式


松戸市市民活動実績報告書

平成24年 3月27日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市三矢小台1-10-1

団体名 松戸里やま応援団『七喜の会』

代表者氏名 代表 栗田 吉治 

平成23年4月1日付け松戸市指令第269号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2



# 活動状況報告書

1. 事業名称 「紙敷 石みやの森」保全育成事業

2. 実施主体

■ 団体名： 松戸里やま応援団 「七喜の会」

3. 事業の実施内容

※計画時に設定した事業内容を記載して下さい。

基本方針 23年度後半から市民が散策できるように整備を進める。

活動内容

1. 適正な樹木の剪定伐採による日照取り入れ、街路灯や電線等への接触、腐食や延びた枝による通行者への接触落下などを防止する整備作業。
2. 有害ゴミ等、不法投棄による森や地質の汚染、不審者の侵入による犯罪温床化、火災などの不測の事故災害の防止活動。
3. 定例活動の実施 毎月第一火曜日、第二木曜日、第四土曜日 他臨時活動日
4. その他具体的活動
  - ・ 策定した森の利用目的および目標林型に沿った整備作業の実施。
  - ・ 森の植生調査及び植生図、草本作成。小動物や鳥の生態調査実施。
  - ・ 枯れ死、折損、倒壊した樹木の伐採整備。下枝、下草の処理実施
  - ・ 「持ち出さない、持ち込まない」を原則に森で伐採した全ての枝葉をビオネストに収容。昆虫類の孵化生息や堆肥化させ家庭の花壇菜園へ活用する。
  - ・ 埋設、投棄ゴミの回収。投棄防止の啓蒙掲示板設置。
  - ・ 会員の知識、技能のレベルアップを図る技能講習会、観察会などへの参加。
  - ・ 保全活動を市民へ広げるため案内板の制作設置。

4. 事業成果について

1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

- ① 定期的な森内及び外周市道の倒壊折損木、徒長枝等の伐採剪定作業。
  - ・ 毎月第一火曜日、第二木曜日、第四土曜日を定例日として活動した。
  - ・ 平成23年4月～平成24年3月 活動回数31回 活動参加人数223名
- ② 特に台風15号による大樹の倒壊、枝葉の折損飛散処理については数ヶ月要した。
  - ・ 倒壊した大木の処理では里やま応援団他会の人や機材の応援を得て実施した。
- ③ 定期的〔活動日の都度〕な見回り、森内・外周市道の埋蔵投棄ゴミの掘り出し回収
- ④ 投棄を呼び掛ける掲示板の設置
  - ・ 纏まったゴミの投棄は一回のみ。空き缶と菓子袋等が散見したのみ。
- ⑤ 森外周市道と森の境界に竹垣を設け森の保全育成活動を印象付けた。
- ⑥ 森の外周市道の整備
  - ・ 従来裏道として利用する人が少なく獣道然としていた。窪みや石塊により凸凹して通行に危険だった。市の道路維持課にお願いして都合2回に亘り整備し安全にした。
  - ・ 森入口の標識掲示に足を止める市民が多くなり活動への関心が出てきた。

⑦ 森の植生調査及び草本作成

- ・平成23年4月現在 61種の草木を確認しまとめた。

⑧ 森で伐採した全ての枝葉をバイオネストに収容

- ・「持ち出さない、持ち込まない」を原則に全ての伐採枝葉をバイオネストに回収した。
- ・数年がかりで堆肥化させ、昆虫類の孵化や生息、家庭の花壇菜園への活用につなげる。

⑨ 会員の保全意識と技能向上の講座受講

- ・松戸里やま応援団のステップアップ講座に参加。
  - 6月 1日「道具の選び方・使い方」「安全な森の活動のために」7名参加
  - 7月13日「里やま活動の歴史—一期生の森の運営と高木枝打ち」3名参加
  - 10月21日「チェーンソーと刈り払い機の取り扱い」8名参加

⑩ 森の標識板を設置、会のリーフレット制作と配布

- ・松戸里やま応援団および会の活動紹介などを掲示。市民への広報活動拡大。

⑪ 初めての散策会実施

- ・活動開始以来初めての「春の散策会」を平成24年3月24日〔土〕に実施。
- ・開催に先立ち地権者湯浅様、千葉県水道局給水場テニスクラブ代表者、市立松戸高校事務局、野球部監督とマネージャー、介護付き老人ホーム「親愛カトリア館」、東松戸保育園、豊泉製作所、菜園所有者、県水道局給水場少年野球審判団、コーチなど周辺地域の方々へ直接お会いしポスター掲示とチラシを配布した。
- ・近隣のマンションなどに開催チラシのポストインなどによる呼び掛け実施。
- ・開催日当日は雨で参加者は少なかった〔テニスクラブや少年野球が雨天中止〕が、近くの親子連れや電車利用の方々などが来森、雨の森を散策して頂いた。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

- ・23年度の整備率目標を50%としたが約70%達成。
- ・23年3月に計画した「春休み森の散策会」を3月24日〔土〕に実施した。
- ・市民サポーターの拡大が出来なかった。
- ・森の標識掲示板設置、活動中の幟旗掲揚などにより通行する市民への関心を深めた。
- ・森周辺的美観整備が進んだ。こうした活動を通してゴミ投棄が大幅に減少した。24年度はゴミ投棄ゼロを達成する。

5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

- ・初めての散策会で出来た市民との繋がりを大事にして活動の理解と共有化を図る。
- ・散策会を定例開催する中で保全事業への関心を高め仲間を増やし緑の保全を広める。
- ・森内には樹齢200年を超える大樹があるが、これらの枯れ死、倒壊木の処理には電動機材が必須となるためなどが整備を順次進める。
- ・方針である「子供からお年寄りまで憩える癒しと健康の森」を目的に整備を進める。を目指した整備を図る。
- ・作業技能の向上を図るため、里やま応援団が主催する講習会に積極的に参加する。

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	年会費	¥14,000	¥8,593	¥0	
	前年度繰越金	¥12,627	¥12,627	¥0	
	その他みどりと花の基金	¥30,000	¥30,000	¥0	
	自己資金合計額 (a)	¥ 56,627	¥51,220	¥0	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥0	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 156,627	¥ 151,220	¥0	/

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 作業用具費等	¥ 82,020	¥ 82,903	¥ -883	1
	2 散策会開催広報活動、消耗品事務用品費	¥ 48,000	¥ 47,716	¥ 284	2
		対象となる経費合計額 (d)	¥ 130,020	¥ 130,619	¥ -599
その他経費	通信・会議・資料補助費	¥ 14,000	¥ 12,785	¥ 1,215	3
	飲料水補助費	¥ 12,607	¥ 7,816	¥ 4,791	4
	その他経費合計額 (e)	¥ 26,607	¥ 20,601	¥ 6,006	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 156,627	¥ 151,220	¥ 5,407	/

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

**精算額**

¥

0-  
~~¥51,220~~

団体名 松戸里やま応援団 七喜の会  
代表者氏名 栗田 吉治



## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
年会費	¥ 8,593		会員会費
前期繰越金	¥ 12,627		
みどりと花の基金	¥ 30,000		
自己資金合計額	¥ 51,220		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 151,220		

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	¥ 82,903	雑茸菌 ¥1,250 1-① 竹鉋・ハンマー ¥2,477 1-② 掛矢等 ¥13,758 1-③ 二連梯子等 ¥22,971 1-④ 安全帯等 ¥14,033 1-⑤ 木製杭等 ¥17,160 1-⑥ 巻尺等 ¥4,297 1-⑦ 竹用鋸等 ¥4,864 1-⑧ 救急セット ¥2,093 1-⑨	
		リフレット制作 ¥15,000 2-① コピー用紙 ¥1,004 2-② コピー代 ¥910 2-③ インクカートリッジ ¥5,260 2-④ コピー用紙 ¥223 2-⑤ 標識板等 ¥5,821 1-⑥に含む インクカートリッジ ¥4,554 2-⑥ クラフト用ベンチ ¥780 1-⑦に含む クラフト用ナイフ等 ¥2,258 1-⑧に含む ノミ等クラフト用具 ¥6,105 2-⑦ 万年杭等掲示板資材 ¥4,010 2-⑧ インクカートリッジ ¥1,791 2-⑨	
	対象となる経費合計額	¥ 130,619	
その他経費	¥ 12,785	郵送料 ¥2,130 3-① 印鑑代 ¥600 3-② ノート代 ¥105 3-③ 通信代 ¥120 助成金交付対象外 インクカートリッジ ¥5,260 助成金交付対象外 DPE代 ¥148 助成金交付対象外 サテンリボン ¥552 3-④ インクカートリッジ ¥2,870 3-⑤ 里やま応援団年会費 ¥1,000 3-⑥	
		インクカートリッジ ¥1,840 助成金交付対象外 交通費 ¥2,850 助成金交付対象外 交通費 ¥2,220 助成金交付対象外 ゴミ袋 ¥276 助成金交付対象外 会場費 ¥480 助成金交付対象外 コピー代 ¥140 助成金交付対象外	
その他経費合計額	¥ 20,601		
支出合計額	¥ 151,220		

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成24年3月19日

松戸市長 本郷谷 健次様

住所(所在地) 松戸市六高台3-117-1

団体名 香実会

代表者氏名 代表 岩本 昌人



平成23年4月1日付け松戸市指令第276号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

# 活動状況報告書

1. 事業名称 五香、六実地区歴史再発見事業

2. 実施主体

■ 団体名： 香実会

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

## I 印刷物作成の実施

日付	作業内容
4月23日	印刷物企画打合せ（パンフレット）
5月10日	手作りマップパンフレット（印刷までの繋ぎ）
5月26日	リーフレット（マップパンフレット）完成
5月28日	印刷物企画打合せ（ガイドブック）
6月25日	印刷物企画打合せ（ガイドブック）
8月24日	ガイドブック完成

## II 歴史案内の実施

日付	作業内容
6月	市の広報掲載依頼（9月1日号）
8月27日	歴史案内企画打合せ
9月24日	歴史案内企画打合せ
9月28日	野馬除土手清掃作業（オウル五香・石井邸）
10月23日	A・Bコース案内実施
11月2日	Cコース案内実施

## III ワークショップ（講演会、座談会）の実施

日付	作業内容
8月26日	案内のコピー用紙準備と
8月27日	ワークショップ、講演会企画打ち合わせ（チラシの企画）
8月26日～9月1日	チラシの印刷
7月	市の広報掲載依頼（10月1日号）
9月24日	ワークショップ、座談会、講演会準備打合せ
10月2日	ワークショップ 六実市民センター 講師小松和央氏 参加者40人

#### 4. 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

印刷物：100%完成（マップパンフレット・ガイドブック）

歴史案内：80%（ABCの案内）

ワークショップ：講演会座談会：80%、演題（五香六実の今昔について）

印刷物を活用して、歴史案内、ワークショップなどで配布、活用しました。1月31日現在の配布状況は、マップ：2550部配布。在庫450部。ガイドマップ：450部配布。在庫250部です。  
(4-7頁)

歴史案内、ワークショップなどの実施により、地域住民の皆さんの活性化の意識改革の足掛かりになった様に思います。

##### (2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

歴史案内：ABCコース案内80%

まちの活性化：1%

ワークショップ：10月2日に実施80%達成

歴史案内に参加した地元住民の方は、毎日通っていた場所なのに、こんな物（文化財）があったとは知らなかったと、感心していました。また、地域外の方たちは、初めての文化財に、感動（野馬除土手、神社など）されていました。

歴史案内の時には地元で、昼食を摂り、少し地元にお金を落とす事が出来ました。また、遠くから参加された方は、地元交通機関を利用してお金を落して頂きました。

ワークショップなどで、地元の商店街などに参加された方は、活性化の意識について少し植え付ける事が出来た様に感じました。

#### 5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

歴史案内に関しては魅力ある内容にする為に、五香六実の特産の梨の時期に、梨狩りとセットで、案内をする様にしたいと思います。

又特産の梨を生かして、梨のワイン、ビール、お菓子、グルメなどを生み出し地域と連携して、良いアイデアを出し、活性化に繋げて行きたいと思っています。

時間は掛かるとは思いますが、地域を盛り上げて行きたいと思っています。

## 23年度収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	年会費	¥ 13,000	¥ 21,000	¥ 8,000	
	雑収入		¥ 1,608	¥ 1,608	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 13,000	¥ 22,608	¥ 9,608	
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 95,314	¥ 4,686	精算額
	資金合計額 (c) (a+b)	¥ 113,000	¥ 117,922		

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考	
助成金の 交付対象 経費	1 マップ (パンフ) 印本費	¥ 10,000	¥ 300	¥ 9,700		
	2 マップ (パンフ) 印本費		¥ 23,100	¥ -23,100		
	3 ガイドブック印本費	¥ 90,000	¥ 74,550	¥ 15,450		
	4ワークショップ用紙代	¥ 7,000	¥ 625			
	5ワークショップコピー代		¥ 3,990			
	6ワークショップコピー代		¥ 1,340			
	7ワークショップインク代		¥ 2,000			
	8会場使用料	¥ 5,000				
		対象となる経費合計額 (d)	¥ 112,000	¥ 105,905	¥ 6,095	
その他 経費	打合せ	¥ 1,000	¥ 12,017	¥ -11,017		
		¥ -	¥ -	¥ -		
	その他経費合計額 (e)	¥ 1,000	¥ 12,017	¥ -11,017		
	事業費 (f) (d+e)	¥ 113,000	¥ 117,922	¥ -4,922		

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	4,686
-----	---	-------

団体名	香実会	
代表者氏名	代表	岩本 昌人





## 23年度収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
年会費	¥ 21,000		会員会費
雑収入・利息	¥ 1,608		
自己資金合計額	¥ 22,608		
市助成金額	¥ 95,314		
収入合計額	¥ 117,922		

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	1 マップ（マップ）印本費	¥ 23,400	3030部 講演会・歴史案内：2550部配布
	2 ガイドブック印本費	¥ 74,550	700部 講演会・歴史案内：450部配布
	3 ワークショップ費	¥ 7,955	チラシ・約500枚配布 講演会・座談会2回：講師 小松和央氏
	4 会場使用料		
	対象となる経費合計額	¥ 105,905	
その他経費	打合せ	¥ 12,017	打合せ会場費など
	その他経費合計額	¥ 12,017	
	支出合計額	¥ 117,922	

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成24年 3月21日

松戸市長 本郷谷 健次殿

住所(所在地)

松戸市新松戸 7-221

サンライトパストラル 5番街 D-517

団体名

バリアフリーまつど市民会議

代表者氏名 代表 元山 幹雄



平成23年4月1日付け松戸市指令第 271号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

# 活動状況報告書

1. 事業名称 『福祉のまちづくり推進のためのシンポジウム・先進地見学事業』

2. 実施主体

■ 団体名： バリアフリーまつど市民会議

3. 事業の実施内容

I シンポジウムの実施「防災とバリアフリー意見交換会」～3・11の身近な体験から学ぶ～

\* 3・11東日本大震災発生を受け、福祉のまちづくりのポイントを防災に絞った。障がい者や高齢者、乳幼児子育て世代など災害時要援護者が、3・11大震災時における自らの体験や行動を語り合うことで今後の防災への心構えや安全、安心へのアプローチにすべく意見交換をした。

日付	作業内容
5月10日	事業企画の具体的計画を打ち合わせ
5月24日	日大社会交通学科デザイン研究室と2011年度事業企画の協働について打ち合わせを実施
5月25日	チラシの企画及び作成 チラシの印刷
6月1日～17日	視覚障がい者から事前の聞き取り調査実施
6月1日～20日	チラシのPR活動
6月25日	意見交換会実施 稔台市民センター別館 参加者：41名

II 先進地見学会の実施

～誰もが暮らしやすいまちづくり先進地交流と見学バスツアー in 越谷～

越谷市「誰もが暮らしやすいまちづくり実行委員会」との交流。避難所やユニバーサルデザイン施設見学。

日付	作業内容
11月21日	見学会企画打ち合わせ
12月13日	見学地（越谷市）の下見および「避難所1泊体験実行委員会」と顔合わせ、具体的打ち合わせ実施
1月6日	チラシの作成、チラシの印刷
1月6日	市の広報掲載依頼（2月15日号）
1月14日	見学会具体的タイムスケジュール、役割分担の打ち合わせ
1月15日～2月6日	先進地見学会（バスツアー）の案内、PRなど準備
2月21日	先進地見学会（バスツアー）の開催 参加者；31名

III その他 福祉のまちづくりボランティアの育成、ネットワークの拡大活動

日付	作業内容
8月30日	明第1地区社協ボランティア講座開催 明市民センター 参加者；34名
10月1日～2日	まつど祭り 体験教室開催 松戸駅西口会場 参加者；284名
10月16日	小金ふれあい広場 体験教室開催 小金小学校 参加者；50名
10月27日	千葉県生涯大学校 バリアフリー講座開催 浅間台校舎 参加者；90名

#### 4. 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

東日本大地震が発生したことで、テーマを防災や避難所に絞って「意見交換会」(シンポジウム)や「先進地見学バスツアー」(越谷市)を実施したが、これまでと違い参加者一人ひとりが、身近なリアルな問題として捉え、自分たちの地域を考える機会になった。

さらに障害のある人だけでなく、お年寄りや子ども達に焦点を当てた福祉のまちづくりのあり方やその普及、啓発に成果をあげることができ、ボランティアの育成やネットワークの拡大にもつながった。

##### (2) 事業課題の解決について

今年度計画した事業課題はほぼ達成できた。『体験』を中心に事業を進めたのが良かった。新しい「気づき」が活力になる。しかし、福祉のまちづくりは大きな課題であり、規模とテンポが追いつかないのが現実である。

これからも地域や行政と協働して継続した活動が求められる。

#### 5. 今後の事業展開

福祉のまちづくりのため地道な努力を重ね、活動を継続していきたい。3.11を契機に市民の関心は、一層強まっています。

『福祉のまちづくり条例』などが、制定されるような世論を盛り上げていきたい。行政との協働が鍵です。

## 収支決算書

### 【収入】

		予算額	決算額	差引額	備考
申請者	BFM会費より	¥ 30,000	¥ 18,941	¥ -11,059	
	見学会参加会費	¥ 30,000	¥ 46,500	¥ -16,500	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 60,000	¥ 65,441	¥ 5,441	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0 -	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 160,000	¥ 165,441		/

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1. <del>貸切バス代他</del> 貸切バス代他	¥ 80,000	¥ 59,667	¥ 20,333	
	2. 講演会謝礼金	¥ 30,000	¥ 30,000	¥ -	
	3 会場使用料	¥ 10,000	¥ 9,290	¥ 710	
	4 消耗品費	¥15,000	¥ 21,644	¥ -6,644	
	5 保険料	¥ 3,000	¥ 7,500	¥ -4,500	
	6 通信費	¥ 7,000	¥ 12,040	¥ -5,040	
			¥ 145,000	¥ 140,141	¥ 4,859
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 5,000	¥ 11,600	¥ -6,600	
	見学ツアーバス運転手心付		¥ 3,000	¥ -3,000	
	会費外スタッフ交通費	¥ 10,000	¥ 10,700	¥ -700	
	その他経費合計額 (e)	¥ 15,000	¥ 25,300	¥ -10,300	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 160,000	¥ 165,441	¥ -5,441	/

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	0 -
-----	---	-----

団体名 バリアフリーまつど市民会議  
 代表者氏名 元山幹雄 印

## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
パリアフリーまつど市民会議会費	¥ 18,941		会員会費他
見学会参加会費	¥ 46,500		1,500円×31人
自己資金合計額	¥ 65,441		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 165,441		

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	1 貸切バス代他	¥ 59,667	リフト付福祉バス1台 下見燃料代
	2 講演会謝礼金	¥ 30,000	講師名 樋上 秀氏 西影 勲氏 他
	3 会場使用料	¥ 9,290	会議室
	4 消耗品費	¥ 21,644	広報チラシ用紙、コピー代、封筒代他
	5 保険料	¥ 7,500	
	6 通信費	¥ 12,040	
	対象となる経費合計額	¥ 140,141	
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 11,600	昼食代
	会費外スタッフ交通費	¥ 10,700	
	見学ツアーバス運転手心付	¥ 3,000	1,500円×2人
	その他経費合計額	¥ 25,300	
支出合計額	¥ 165,441		

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成24年3月22日

松戸市長

住所(所在地) 〒270-2222

松戸市高塚新田123-2 2-2-104

団体名 クリニカルアートをひろげる会

代表者氏名 <sup>代表</sup> 村井 眞理



平成23年4月1日付け松戸市指令第272号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

## 活動状況報告書

1. 事業名称 芸術による認知症予防及び進行抑制の為の事業と認知症高齢者の介護者へ支援事業

2. 実施主体

■ 団体名：クリニカルアートをひろげる会

3. 事業の実施内容

① 認知症高齢者の介護者を対象とした「クリニカルアートの説明会」及び、認知症の方とその介護者との「合同ワークショップ」を行なう。

日付	作業内容
8月7日 /	有料老人ホーム（常盤平） デイサービスフロアにて。 スタッフ3名、参加者9名「スイカの暑中見舞い」制作。水彩絵の具使用
12月4日 /	特別養護老人ホーム デイサービスフロア（五香）にて 常盤平地域包括センター共催 スタッフ5名、参加者6名「描き初め」制作。墨、水彩絵の具、杉皮紙使用
2月5日 ☆ /	有料老人ホーム（常盤平） デイサービスフロアにて。 スタッフ5名、参加者4名「満開の桜の大木」制作。 墨、アクリル絵の具、画仙紙使用

② 認知症予防の為のワークショップ（毎月第2土曜日・第3木曜日実施）

日付	作業内容
4月9日 /	スタッフ4名、参加者9名、「春の小野菜の水彩画」制作。水彩絵の具使用
4月21日 /	スタッフ2名、参加者7名、「春の小野菜の水彩画」制作。水彩絵の具使用
5月14日 /	スタッフ3名、参加者9名、「ぬらし絵『花を描く』」制作。水彩絵の具使用
5月19日 /	スタッフ2名、参加者3名、「ぬらし絵『花を描く』」制作。水彩絵の具使用
6月11日 /	スタッフ4名、参加者14名、「和紙を使ったあじさい画」制作。和紙、色紙使用
6月16日 /	スタッフ2名、参加者2名、「和紙を使ったあじさい画」制作。和紙、色紙使用
7月9日 0	スタッフ3名、参加者9名、「ナスの量感画」制作。オイルパステル使用
7月21日 /	スタッフ3名、参加者5名、「ナスの量感画」制作。オイルパステル使用
8月13日 /	スタッフ2名、参加者5名、「ほおずきのある団扇」制作。お花紙、団扇使用
8月18日 /	スタッフ3名、参加者6名、「ほおずきのある団扇」制作。お花紙、団扇使用
9月10日 /	スタッフ2名、参加者10名、「石に描くアナログ画」制作。アクリル絵の具使用
9月15日 /	スタッフ2名、参加者6名、「石に描くアナログ画」制作。アクリル絵の具使用
10月8日 /	スタッフ4名、参加者1名、「秋草の墨絵」制作。墨、水彩絵の具、短冊使用
10月20日 /	スタッフ2名、参加者9名、「秋草の墨絵」制作。墨、水彩絵の具、短冊使用
11月12日 /	スタッフ3名、参加者7名、「紅葉屏風」制作。アクリル絵の具、金粉使用
11月17日 /	スタッフ2名、参加者5名、「紅葉屏風」制作。アクリル絵の具、金粉使用
12月10日 /	スタッフ2名、参加者8名、「年賀状・雪」制作。アクリル絵の具、銀粉使用
12月15日 /	スタッフ3名、参加者6名、「年賀状・雪」制作。アクリル絵の具、銀粉使用
1月14日 /	スタッフ4名、参加者7名、「風の抽象表現」制作。木炭、木炭粉使用
1月19日 /	スタッフ2名、参加者4名、「風の抽象表現」制作。木炭、木炭粉使用
2月11日 /	スタッフ3名、参加者9名、「木炭画・かぶ」制作。木炭、ジェッソ使用
2月16日 /	スタッフ4名、参加者5名、「木炭画・かぶ」制作。木炭、ジェッソ使用
3月10日 /	スタッフ2名、参加者5名、「植木鉢に描くアナログ画」制作。植木鉢、色鉛筆使用
3月15日 /	スタッフ3名、参加者3名、「植木鉢に描くアナログ画」制作。植木鉢、色鉛筆使用



## 4. 事業成果について

### (1) 事業目的の達成について

#### ① 認知症高齢者の介護者を対象とした「クリニカルアートの説明会」及び、認知症の方とその介護者との「合同ワークショップ」

- ・会場をデイサービスを実施している高齢者施設を利用する事にしたので、施設側との話し合いで集団での説明会は行なわず、お問合せのあった家族様に、電話で個別で相談する事になった。この為、「クリニカルアートの説明会」と銘打ったものは実施しなかった。
- ・在宅の認知症高齢者と介護者のワークショップが実現できた。

#### ② 認知症予防の為のワークショップ（毎月第2土曜日・第3木曜日実施）

- ・毎月第2土曜日、第3木曜日に、ワークショップが実施できた。
- ・参加者の入院や転居により、参加人数が伸びず、参加費の予算目標に至らなかった。
- ・地域のクリニックの理解や協力を得て、活動拠点がひろがった。

### (2) 事業課題の解決について

#### ① 認知症高齢者の介護者を対象とした「クリニカルアートの説明会」及び、認知症の方とその介護者との「合同ワークショップ」

- ・在宅の認知症高齢者とのワークショップが実現できた。
- ・認知症の方本人だけでなく、常に介護をされる家族等介護者の方にも同時にワークショップを受けさせていただくことを実現できた。終了後は互いに笑顔で出来あがった作品を誉め合う姿も見られ、参加して良かった、ストレス発散になったとの回答を介護者全員からいただいた。

#### ② 認知症予防の為のワークショップ（毎月第2土曜日・第3木曜日実施）

- ・毎月概ね10名以上の参加者が、楽しみにしていただけた状況になってきた。この日を心待ちにして生きがいのように感じてくださる方もおり、いきいきした老後生きがい作りに貢献できた。
- ・本格的な画材を使用し、専門的な美術の技法も取り入れての取り組みなので、芸術的文化的な空間で時間を有効に過ごす事が出来て、もっといろいろな制作をやってみたいという意欲を引き出せた。
- ・参加者同士で会話しながら制作をしていき、夏休みなどはお孫さんも参加されるなど世代間交流もあり、高齢者と健常者や家族も一緒にコミュニケーションをはかれた。

## 5. 今後の事業展開

#### ① 認知症高齢者の介護者を対象とした「クリニカルアートの説明会」及び、認知症の方とその介護者との「合同ワークショップ」

2012年以降も同じスタイルの合同ワークショップを実施していく。  
助成事業で実施して得た経験を生かして、より介護者の方の心のケアに繋がる活動の場にしていく。  
地域包括との連携が出来たので、次年度以降も積極的に継続していく目途ができた。

#### ② 認知症予防の為のワークショップ（毎月第2土曜日・第3木曜日実施）

2012年以降も継続して実施していく。  
より多くの方に参加していただき、アートな空間での生きがい作りに貢献していく。制作を通してのコミュニケーションにより、参加者同士の交流を促し、高齢者の孤立化も防ぎつつ、アートによる潤いのある豊かな時間の共有を図っていく。

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	参加費	¥ 150,000	¥ 105,000	¥ -45,000	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 150,000	¥ 105,000	¥ -45,000	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 250,000	¥ 205,000		/

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 52,000	¥ 54,000	¥ -2,000	
	2 印刷製本費	¥ 14,000	¥ 5,690	¥ 8,310	
	3 通信費	¥ 3,200	¥ -	¥ 3,200	
	4 消耗品費	¥ 158,960	¥ 125,332	¥ 33,628	
	5 保険料	¥ 13,440	¥ 13,440	¥ -	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 241,600	¥ 198,462	¥ 43,138	/
その他経費	交通費	¥ 8,400	¥ 5,800	¥ 2,600	
	雑費	¥ -	¥ 738	¥ -738	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (e)	¥ 8,400	¥ 6,538	¥ 1,862	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 250,000	¥ 205,000	¥ 45,000	/

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

¥

団体名 クリニカルアートをひろげる会  
代表者氏名 村井 眞理



## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
参加費	¥ 105,000		参加費1000円×87 体験参加費2000円×9
自己資金合計額	¥ 105,000		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 205,000		

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 54,000	2000円×27 介護者との合同ワークショップ3回 認知症予防事業24回
	2 印刷製本費	¥ 5,690	チラシ案内 印刷コピー代
	3 通信費	-	電話で個別に説明を行った為文書発送による通信費が発生しなかった
	4 消耗品費	¥ 125,332	画材 消耗品代他(詳細は領収書参照)
	5 保険料	¥ 13,440	560回×24回 ボランティア行事保険
	対象となる経費合計額	¥ 198,462	
その他経費	交通費	¥ 5,800	駐車場代
	雑費	¥ 738	写真代
	その他経費合計額	¥ 6,538	
支出合計額	¥ 205,000		

第 5 号様式



松戸市市民活動実績報告書

平成 24 年 3 月 30 日

松戸市長 本郷谷 健次 様

住所(所在地)松戸市新松戸 4-257-1

ニューホームス 第一マンション 1 階

団体名 特定非営利活動法人

子どもの環境を守る会 J ワールド

代表者氏名 理事長 三浦輝江



平成 23 年 4 月 1 日付け松市市協第 273 号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第 11 条第 1 項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

○ 収支内訳書

・・・別紙 1

○ 領収書等

・・・別紙 2

# 活動状況報告書

1. 事業名称 Jキッズ子どもまつり

2. 実施主体

■ 団体名： 特定非営利活動法人子どもの環境を守る会 Jワールド

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

Jキッズこどもまつり

日付	作業内容
4月9日～7/8	事業企画打ち合わせ(スタッフ)
5月7日～7月2日	子ども達によるゲームコーナー・模擬店の企画、準備
5月10日～6月8日	チラシの企画及び作成・発注
5月30日～7/9	物品購入
6月11日	チラシ完成
6月20日～30日	チラシのPR活動(小学校10校)
6月21日	綿菓子機レンタル発注
6月24日	車イスレンタル依頼
6月27日	保険加入手続き・検便検査
7月5日	チラシ郵送
7月8日	前日準備
7月9日	Jキッズ子どもまつりの実施 新松戸市民センター 参加者546人 スタッフ7名 ユースタッフ5名 大人ボランティア16名 中学ボランティア2名 高校ボランティア2名 大学ボランティア1名

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

- ・150名の受益目標者を設定していたが、当日参加が546名、そのうち受益者人数が285名で、大幅に達成できた。協働推進課の協力により、新松戸市民センターを利用出来たこと、チラシを小学校10校に配布出来た事が成果として大きい。
- ・ゲームの内容や場所決め、模擬店の内容、金額など、一から子ども達が考え、作り上げていくことが出来、自主性、積極性を育てる事が出来た。当日、初めから最後まで担当のブースを頑張る姿が見られ、‘やり遂げる力’を養うことが出来た。
- ・昨年同様、3世代交流の場を提供できた。今回、ボランティアで親世代、中学生、高校生、大学生も参加。学校への不登校に悩んでいる中学生もゲームコーナーに参加し、活躍する場となった。

- ・Jレンジャーショーの指導に、プロのモーションアクターの方もボランティアで協力していただいた。また、民生委員や民生児童委員の方も来られ、この子どもまつりはJワールドの活動に興味、関心をもって下さる方を増やすきっかけにもなったと言える。
- ・賛助会員を増やす事を目標にした。当日、NPOブースを設置し、普段の活動の紹介や、各事業の案内をした。当日に賛助会員となってくださった方はいなかったが、沢山来て下さったお客様に、多くのパンフレットやチラシを渡し、NPOの活動を紹介する事が出来た。今後に期待したい。
- ・NPOブースにおいて、被災地での活動も紹介した。地域の方のボランティアへの関心を高める事が出来た。

### 《来場者統計》

#### 【小学生】

馬橋北小学校	42名	新松戸西小学校	18名	八ヶ崎小学校	2名
馬橋小学校	35名	殿平賀小学校	18名	上本郷小学校	2名
旭町小学校	31名	横須賀小学校	18名	貝の花小学校	1名
幸谷小学校	23名	小金北小学校	16名	六実小学校	1名
小金小学校	21名	風早北部小学校(柏)	7名	古ヶ崎小学校	1名
新松戸南小学校	20名	常盤平第二小学校	3名		
					<u>小学生 計 259名</u>

【未就学児】 計 99名

【大人・保護者】 計 151名

【学校等 不明】 計 37名

総合計 546名

## (2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

・「考える力」を養い、社会に積極的に貢献出来る子ども達に育てることで、地域課題の解決に  
なげていくことを目標としていた。Jキッズの子ども達は確実に、今回の子どもまつりで「考える力」や「仕える精神」も養う事が出来たといえる。

地域の子ども達も、TVゲームなどとは違う、健全な遊びに触れる機会となり、チャレンジする心を養えたのではないか。(子ども会的な役割を担えた。)

## 5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

◎子どもまつりについて、反省会を実施した。

(Jキッズスタッフの視点から)

○チラシを小学校に配れた結果予定以上にたくさんの方が来てくださった。

○今後、場所をより広いところに行ないと、混んで事故や混乱を招いてしまう。模擬店をする場合、換気のこと考える必要がある。また、開催場所とのコミュニケーションがなかったため、模擬店について変更や混乱が起き

たので、来年度は開催場所とのやりとりを密に行う。

○J ワールドのブースを初めて設置できたが、J ワールドのパンフレットを受付で配布すればより宣伝が効果的だったと思う。

○子ども達が最後まで頑張り、彼らの成長につながった。

(Jキッズ子ども達の視点から)

○食べ物やスーパーボールが少なく、すぐなくなってしまった。また、行列が出来てしまったため、ゲームコーナーを増やしてみたらどうか。

○換気が悪かった。

○ゲーム券をまとめて買うだけでなく、好きなコーナーごとにも買えるバラ売りにしても良いのではないかな。

○J レンジャーショーは小さい子に人気だったが高学年向けにもう少し違う内容にしたらどうか。

○お友達を呼びやすい場所で、模擬店、ゲームコーナーとも小学生が出せる金額だったのでよかった。

- ・来年度、助成金を受けなくても同じような効果を得るために、今年度の成果を各小学校にアピールし、来年度につなげていきたいと考え、Jワールドの会報を作り、各学校に配布させていただいた(平成24年1月に各校に配布)。今後も定期的に作成し、小学校にアピールしていきたい。
- ・ボランティアに参加していただけた方をさらに通常の活動に協力していただき、活動の幅を広げていきたい。
- ・かなりの人数の参加があったため、混乱を防ぐために一日のみの開催でなく、数回に分けて子どもまつりを行うという、あらたな取り組みもしていきたい。

○

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者		¥ 15,000	¥ 28,500	¥ 13,500	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 15,000	¥ 28,500	¥ 13,500	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 98,664	¥ 1,336	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 115,000	¥ 127,164		/

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 30,000	¥ 17,120	¥ 12,880	
	2 会場使用料・機材レンタル料	¥ 12,000	¥ 9,800	¥ 2,200	
	3 PR費	¥ 27,000	¥ 27,804	¥ -804	
	4 保険料	¥ 12,000	¥ 13,150	¥ -1,150	
	5 通信費	¥ 4,000	¥ 3,200	¥ 800	
	6 消耗品費(模擬店、ゲーム材料)	¥ 30,000	¥ 56,090	¥ -26,090	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 115,000	¥ 127,164	¥ -12,164	/
その他経費		¥ -		¥ -	
	その他経費合計額 (e)	¥ -	¥ -	¥ -	/
	事業費(f) (d+e)	¥ 100,000	¥ 127,164	¥ -12,164	/

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	1,336
-----	---	-------

団体名 特定非営利活動法人

子どもの環境を守る会Jワールド

代表者氏名 理事長 三浦輝江





## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
イベント参加費	¥ 28,500	100円×285枚	
自己資金合計額	¥ 28,500		
市助成金額	¥ 98,664		
収入合計額	¥ 127,164		

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 17,120	7000部	チラシ印刷費
	2 レンタル料	¥ 9,800		綿菓子機レンタル
	3 PR費	¥ 27,804		
	4 保険料	¥ 13,150	検便手数料250×12人 検便容器50円×15個 行事保険(賠償)1,000円 (傷害)8,400円	イベント保険料・検便
	5 通信費	¥ 3,200	80円×40通	切手代
	6 消耗品費	¥ 56,090		模擬店・ゲームコーナー・材料など
	対象となる経費合計額	¥ 127,164		
その他経費				
	その他経費合計額	¥ -		
支出合計額	¥ 127,164			

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成 24年 3月 30日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市新松戸 1-42-4

団体名 まつど「1/4の奇跡」上映実行委員会

代表者氏名 <sup>代表</sup> 橋本 裕子



平成23年4月1日付け松戸市指令第 274 号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

# 活動状況報告書

1. 事業名称 「宇宙の約束」上映と山元加津子氏講演会 事業

2. 実施主体

■ 団体名: まつど「1/4の奇跡」上映実行委員会

3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

## I 山本加津子氏講演会の実施

日付	作業内容
1月7日	事業企画打ち合わせ
2月2日～	チラシを会員に配布、PR活動
2月20日～	協賛金のチラシを会員に配布、依頼活動
3月1日	チラシ印刷、PR活動、市民活動サポートセンターへバザー品届け
3月8日	ポスター作り、PR活動
3月16日	会場（市民会館301会議室）下見、役割と担当確認、PR活動
4月1日	松戸市教育委員会、松戸市社会福祉協議会后援申請、PR活動
4月6日	役割と担当確認、協働推進課へチラシを市全域に配布依頼、PR活動
4月7日	コアラテレビ取材依頼、PR活動
4月8日	社会福祉協議会へチラシを地域社会福祉協議会に配布依頼、PR活動
4月20日	会場にて試写会、プログラム印刷
4月24日	講演会&上映会の実施 講師 山元加津子氏 参加者 150人
7月20日	振り返りと会計についての打ち合わせ

## II 交流会の実施

日付	作業内容
5月11日	講演会&上映会の振り返りミーティング、交流会企画打ち合わせ
5月17日	交流会企画打ち合わせ
5月22日	交流会の実施 市民劇場会議室 参加者 17人
12月2日	今後の研修会、交流会の企画について打ち合わせ
1月10日～	はがき印刷、PR活動
2月4日	チラシ印刷、PR活動、
2月6日	協働推進課へチラシを配布依頼、PR活動、
2月19日	「宇宙の約束」の研修会&交流会の実施 稔台市民センター 参加者 10人

#### 4. 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

講演会&上映会、それに続く交流会を通して、命の不思議さ、尊さを感じる機会を作ることができた。交流会では、お互いに尊重しながら自由に話し合う雰囲気の中で、共感が深まった。

参加者のうち、講演会や映画に感動した方が、ご自分の住む地域で同じ映画の上映会を開催、つながりが広がった。

##### (2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

講演会&上映会からは、一人一人がかげがえのない存在であるというメッセージを受け取ることができた。

この会を実施したことで、スタッフ同士のつながりが深まった。

交流会では、違うものを排除するのではなく、違いへの興味関心を持ち、意見交換、意思疎通ができていく中で、お互いが大切な存在であることを実感することができた。このような感情を経験することは、この地域で暮らしていくことの楽しみ、励ましとなったと思う。

#### 5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

もっとたくさんの地域で上映会、交流会を開くことで、地域での人と人との関わりを作っていきたい。

そして、ひとりひとりの持ち味が生かされ、この街で暮らして嬉しいと思えるひとを増やしていくように、展開したい。

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	昨年度繰越金	¥ 57,741	¥ 57,741	¥ -	
	協賛金		¥ 24,000	¥ 24,000	
	参加費	¥ 150,000	¥ 216,000	¥ 66,000	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 207,741	¥ 297,741	¥ 90,000	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 307,741	¥ 397,741		/

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	山元加津子氏講演会謝礼	¥ 50,000	¥ 86,460	¥ -36,460	
	印刷製本費	¥ 15,000	¥ 7,110	¥ 7,890	
	会場使用料	¥ 15,000	¥ -	¥ 15,000	
	機材賃借料	¥ 3,000	¥ -		
	テープ賃借料	¥ 160,000	¥ 98,164		
	保育委託料	¥ 20,000	¥ -		
	交流・学習にかかる費用	¥ 10,000	¥ 30,000		
	消耗品費	¥ 22,741	¥ 27,150		
	通信費	¥ 5,000	¥ 13,750		
	保険料	¥ 2,000	¥ 3,000		
		対象となる経費合計額 (d)	¥ 302,741	¥ 265,634	¥ 37,107
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 5,000	¥ 6,400	¥ -1,400	
	交通費		¥ 63,930		
	宣伝費		¥ 50,000		
	雑費		¥ 11,777		
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (e)	¥ 5,000	¥ 132,107	¥ -127,107	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 307,741	¥ 397,741	¥ -90,000	/

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額

¥

-

団体名 つど「1/4の奇跡」上映実行委員  
代表者氏名 代表 橋本 裕子



## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
昨年度繰越金	¥ 57,741		
協賛金	¥ 24,000		12店より
参加費	¥ 216,000		2011年4/24. ¥211000, 2012年2/19. ¥5000
自己資金合計額	¥ 297,741		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 397,741		

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 7,110	2011年4/24の事業の為に使った1~3月分は含まれない。
	2 講演会謝礼金	¥ 86,460	講師：山元加津子氏
	3 会場使用料・機材貸借料	¥ -	2011年4/24市民会館301会議室, 5/22市民劇場第3会議室, 2012年2/19稔台市民センター
	4 テープ貸借料	¥ 98,164	
	5 保育委託料	¥ -	保育の必要がなかった。
	6 交流・学習会に係る費用	¥ 30,000	
	7 消耗品費	¥ 27,150	
	8 通信費	¥ 13,750	
	9 保険料	¥ 3,000	
	対象となる経費合計額	¥ 265,634	
その他経費	スタッフ飲食費用	¥ 6,400	
	交通費	¥ 63,930	
	宣伝費	¥ 50,000	
	雑費	¥11,777	
	その他経費合計額	¥ 132,107	
支出合計額	¥ 397,741		

第 5 号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成 24 年 2 月 21 日

松戸市長

住所(所在地)

松戸市北松戸 2-3-6 第 1 六協ビル 2 階

団体名 不登校問題を考える東葛の会『ひだまり』

代表

代表者氏名 鹿又 克之



平成 23 年 4 月 1 日付け松戸市指令第 275 号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第 11 条第 1 項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

○ 収支内訳書

・・・別紙 1

○ 領収書等

・・・別紙 2

# 活動状況報告書

1. 事業名称 不登校の理解を深める本の作成と配布事業

2. 実施主体

■ 団体名： 不登校問題を考える東葛の会『ひだまり』

3. 事業の実施内容

I、本の作成と配布

日付	作業内容
3月 4日	世話人会「事業の趣旨理解と会の計画について、検討」
4月13日	世話人会「事業への取り組み・原稿募集、原稿依頼、掲載承諾依頼、編集会議への参加募集など、検討」
4月27日	印刷所との打ち合わせをおこなう
4月27日	東葛の会ニュースに「市民活動助成事業で『不登校の理解を深める本の作成と配布事業』に取り組むので、◎編集委員会にはいりませんか。◎体験記を書きませんか」という内容を掲載。
5月 5日	第1回編集会議、4名参加「編集方針の検討。集まった原稿を読む。原稿依頼の検討。パソコンへの原稿打ち込みの分担」など
6月25日	講演会を実施した。事業計画の説明、原稿募集も知らせた。
7月 6日	東葛の会ニュースに「原稿が集まってきていて、編集作業に入っています」という内容を掲載。
7月18日	第2回編集会議、6名参加。原稿が十数点集まっている事の確認。原稿の読み合わせ。今後の原稿依頼。本の全体構成の検討。不登校を体験した子どもたちの中で絵を描く事が好きな子どもへの挿し絵依頼
8月13日	第3回編集会議。5名参加。原稿の確認、内容を読み合う。編集作業を進める。仕事分担。
9月18日	第4回編集会議。5名参加。目次の作り方。各原稿の順番。句読点の修正。仕事分担。
10月11日	第5回編集会議。内容を読みあい、修正する。4名参加。
11月 4日	第6回編集会議。4名参加。最終点検。印刷所に入稿。
11月25日	本が完成し、『ひだまり』に納品される。
11月26日	講演会を実施。講師：聖徳大学末永清教授。本の紹介もおこなう。
11月29日	本を寄贈：松戸市教育研究所を通して市内小中学校とスクールカウンセラーに。そのほか松戸市保健所。教育研究所。ふれあい教室、教育研究所古ヶ崎分室。家庭児童相談室など。
12月 1日	本を寄贈：松戸市立博物館。松戸市民活動サポートセンター。社会福祉事務所等
12月 7日	本を発送：県子どもと親のサポートセンター。近隣の大学の研究室。相談機関。



	親の会。相談員。会員の中で教員をしている人など。
1月20日	松戸民生委員児童部会で『ひだまり』の活動を紹介。本の紹介もおこなう。
1月30日 /	毎日新聞に、本の紹介が掲載された。 /

#### 4. 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

- 1、不登校を体験した子ども、親の手記「不登校という宝物」の本を作成した。
- 2、ニュースや親の会、講演会などで、原稿を募集したが、子ども（若者）の手記8編、親の手記12編が集まった。
- 3、学校、スクールカウンセラー、PTA、相談機関、大学研究室その他に配布することができた。

##### (2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

- 1、本を作成し、配布することにより「不登校で悩んでいる子ども・親の内面、子どもの見せている様子の意味」などを学校、スクールカウンセラー、相談機関その他にかかわっている方々に伝えることが出来て、「たいへん参考になった」「子どもや親の様々な心理・内面・様子が伝わって来た」など感想が寄せられた。
- 2、お子さんが不登校で悩んでいる親から「とても参考になった」「子どもにどうかかわって行ったら良いか、見えて来た」「苦しんでいるのは自分だけではないんだ、と思った」など感想が寄せられ、「孤立からつながりへ」という事業課題に迫れたのではないかと。
- 3、読んだ地域の方々からは、「不登校を体験した子ども、親の様子や気持ちは自分の捉えていたものとはずいぶん違っていた」「こんなにも苦しんでいるとは思っていなかった。子どもや親が元気になって行く関わり方がとても参考になった」「読んで初めてわかったことが多かった。目からうろこが落ちる思いだった。たくさんの人に読んで欲しい」などの感想が寄せられたので、作成した意味があったのではないかと。

#### 5. 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

- 1、講演会・親の会など開き、この本を紹介したり、内容から学んで行く機会をつくる。
- 2、学び合ったことをニュース、資料などをつくり、親・学校・相談機関その他に配って行く。
- 3、いろいろな相談機関、学び合う場があることを知らせて行く。

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	本の販売収入	¥ 100,000	¥ 111,000	¥ 11,000	
	自己資金	¥ 33,410	¥ 22,410	¥ -11,000	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 133,410	¥ 133,410	¥ 0-	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0-	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 233,410	¥ 233,410	¥ 0	/

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 本の印刷製本費	¥ 207,900	¥ 207,900	¥ 0-	
	2-① 通信費	¥ 12,480	¥ 12,480	¥ 0-	
	2-② 通信費	¥ 13,030	¥ 13,030	¥ 0	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 233,410	¥ 233,410	¥ 0-	/
その他経費			¥ -	¥ -	
			¥ -	¥ -	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (e)	¥ -	¥ -	¥ 0-	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 233,410	¥ 233,410	¥ 0-	/

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

<b>精算額</b> ¥                      0-
--------------------------------------

団体名 不登校問題を考える東葛の会『ひだまり』  
 代表者氏名 鹿又 克之印



## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
本の販売収入	¥ 111,000	/	500円×222冊分
自己資金	¥ 22,410	/	
自己資金合計額	¥ 133,410	/	
市助成金額	¥ 100,000	/	
収入合計額	¥ 233,410	/	

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	1 本の印刷製本費	¥ 207,900	/ 1,000部作成 「不登校という宝物」の本作成
	2-① 通信費	¥ 12,480	/ 4月 12,480円 4月松戸市内61通市外126通・募集のお知らせ
	2-② 通信費	¥ 13,030	/ 1月 13,030円 1月松戸市内62通市外133通・本の送付
	対象となる経費合計額	¥ 233,410	/
その他経費			
	その他経費合計額	¥ -	
支出合計額	¥ 233,410	/	

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成 24 年 3 月 30 日

松戸市長

住所(所在地)松戸市新松戸3-296  
サンライトパストラル壺番街A-1207

団体名 まつどサロンネットワーク

代表

代表者氏名 桑田雅子



平成23年4月1日付け松市市協第276号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

## 活動状況報告書

1. 事業名称 まちづくりコラボサロン  
2. 実施主体  
■ 団体名: まつどサロンネットワーク

### 3. 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

#### I サロンの実施

日付	作業内容
4月15日(金)	第1回サロン(女性センター研修室)
4月20日(水)	第2回サロン(女性センター多目的室1)
5月15日(日)	第3回サロン(女性センター研修室) 福島からの避難者の方々を囲んで
6月13日(月)	第4回サロン(女性センター研修室)
7月1日(金)	第5回サロン(女性センター多目的室2)
7月22日(金)	第6回サロン(女性センター研修室)
9月5日(月)	第7回サロン(女性センター多目的室1)
9月26日(月)	第8回サロン(女性センター研修室)
10月12日(水)	第9回サロン(女性センター研修室) ゲストスピーカー加藤公朗さん を囲んで
10月28日(金)	第10回サロン(女性センター研修室)
11月28日(月)	第11回サロン(女性センター研修室)
12月1日(木)	第12回サロン(女性センター多目的室1)
12月26日(月)	第13回サロン(女性センター研修室)
3月2日(金)	第14回サロン(女性センター研修室)
3月26日(月)	第15回サロン(女性センター研修室) ゲストスピーカー 阿部剛さん・小熊浩典さんを囲んで

#### II イベントの実施

日付	作業内容
12月20日	市の広報掲載依頼(2月1日号)、 場所の公用での確保依頼(協働推進課)
1月8日~9日	講座企画打ち合わせ
1月10日	チラシの企画及び作成
1月15日	チラシの印刷
2月8日	講座の開催 女性センター ホール 講師西川正氏参加者16名

#### 4. 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的

- ・サロンへの参加登録者(新規参加者)の人数を増やす。目標は1年間で50人。
- ・サロンネットワーク参加者にとって利点のあるようなイベントを、意見を聞きながら開催する。少なくとも年1回イベント、年1回講演会は開催して、イベント集客数は100人以上、講演会は50人以上の集客を目標とする。(その他の企画は会員から要望があれば、その都度企画実施)

もともとサロンの目標は2つあり、

- ① より多く幅広い層の人をとりこんで、「自分にできること」を地域で挑戦する人が増えること
- ②人が出会うことで新しい活動が生まれること、ネットワークを広げる場となること

結果として事業の企画を考えていた際、数値として挙げていたひろげる人数の数は結果として達成できなかった。新規にサロンを訪れた人の数は約20人。人数達成ができなかった理由は

- ・震災によって自分の生活に多くの人に影響が出て、多くの人が多岐にわたる市民活動の方に目を向ける時間や余裕がなくなった。これまで参加してきたメンバーにもその影響が出て、参加人数も広がりは少なくなった。
- ・震災の影響による社会的な混乱の中で、市民活動自体がどのような意義を持つのか、再考するような声や、「自分にできること」を考える内容や質の変化、すでに活動している人からは活動に無力感を感じる声なども聞かれ、社会的な価値観に変化があったこと。

ただ数値の達成こそできなかったが、自分にできることを見つけ、それを活かして「新しい活動」を生むこととするこのサロンの目標については大きな成果があった。

サロンに「農業ボランティア」のシステム作りに関心を持つメンバーが参加し、サロンの中からその話に関心を持って、仕組み作り着手することとなったことである。結果的にこのサロンの中から「松戸農業サポート協議会」が成立することとなった。

企画時に目標と考えていた人の広がりは、想定外のことであったが広がりではなく密な人間関係を作ることができて、サロン1年目で培った人間関係が土台となって新しい提案が持ち込まれたときに、それまでの信頼関係を基礎として新しい活動の立ち上げを可能とすることとなった。

##### (2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのか

【設定した事業課題】

個人にとっては、人の役に立ちたいと思っている人たちの力を、現実的に地域で何かできる方向に向かわせることで生きがいのある人生を送ることができる。社会的にはそれをネットワーク化することで、地域的に孤立化している人々を減らし、顔見知りを増やしたり協力し合う関係を少しでも構築し、住みやすい地域を形成する。

この「松戸農業サポート協議会」の立ち上げは、事業企画時に課題解決による目標としていた上記のことをこれから実現する一端となると思う。

この「まつど農業サポート協議会」はまさに助けを必要としている農家と、体を動かし、土に触れることで自分の時間を有意義にしたい、また、農業や菜園に関心のある人を結ぶものとしてネットワークのモデル事業の1つになり得ると思う。

「自分を活かす場」を探す人の選択肢を増やすことができたことは、課題解決に向けての大きな一歩だとはいえないだろうか。

また、これによって市民活動の大きな目標でもある「松戸市の活性化」にもつながることが期待できると考えている。

## 5. 今後の事業展開

サロンは、多くの人を結ぶ場として、または活動を考えていたり、仲間を探していたり、自分を活かすことを考える人に対して常に開かれている場として存在する意義があると考えている。サロンから生まれた「松戸農業サポート協議会」とも相互に連携をとりながら、地域活性化、あるいは自分の人生を有意義に活かすことのできる場を探す人の一助となるれるようにこれからも最低でも月1回は開催して、人のつながりをひろげていきたいと考えている。

また、リアルの場合だけのサロンの開催には時間的にも限界を感じているので、ネットのツールを使ってのシニア層に仲間を募る仕組みも作りたいと考えている。

そのための講座もこれから試行錯誤しながらになると思うがおこなうことを考えていきたい。

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	サロン会員参加費	¥ 65,000	¥ 32,400	¥ -32,600	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 65,000	¥ 32,400	¥ -32,600	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 165,000	¥ 132,400		/

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1. 会場使用料	¥ 30,000	¥ 13,280	¥ 16,720	
	2. 講演会謝礼金	¥ 71,000	¥ 54,000	¥ 17,000	
	3. 消耗品費	¥ 16,000	¥ 13,590	¥ 2,410	
	4. 郵送費	¥ -	¥ 410	¥ 14,590	
	5. 印刷費	¥ 10,000	¥ 30,550	¥ -12,180	
	6. イベント会場費	¥ 5,000	¥ -	¥ 5,000	
		対象となる経費合計額 (d)	¥ 132,000	¥ 111,830	¥ 20,170
その他経費	ゲストスピーカー交通費	¥ -	¥ 840	¥ -840	
	茶菓代	¥ 22,000	¥ 19,030	¥ 2,970	
	コピー代		¥ 700	¥ -700	
	駐車場代	¥ 11,000	¥ -	¥ 11,000	
	その他経費合計額 (e)	¥ 33,000	¥ 20,570	¥ 12,430	
			¥ 165,000	¥ 132,400	¥ 32,600

業費(f) (d+対象経費については、必ず証拠書類があること。

決算額は、予算額を超えないこと。

1	精算額	¥	0	-
2				
3				

団体名 まつどかネットワーク  
 代表者氏名 桑田雅子



## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項（用途など）
サロン会員参加費	¥ 32,400	4/15 @200 × 14 = 2,800 4/20 @200 × 11 = 2,200 5/15 @200 × 9 = 1,800 6/3 @200 × 9 = 1,800 7/1 0 7/22 @200 × 7 = 1,400 9/5 @200 × 7 = 1,400 9/26 @200 × 12 = 2,400 10/12 @200 × 11 = 2,200 10/28 @200 × 9 = 1,800 11/28 @200 × 9 = 1,800 12/1 0 12/26 @200 × 8 = 1,600 2/8 @500 × 16 = 8,000 3/2 @200 × 6 = 1,200 3/26 @200 × 10 = 2,000	・サロンは通常一人200円の参加費 ・2月8日は講演会イベントとして一人500円の参加費 ・但し7/1と12/1についてはサロン内の新規団体立ち上げ会議のため、参加費徴収せず（農家関係、JA関係の方が参加）
自己資金合計額	¥ 32,400		
市助成金額	¥ 100,000		
収入合計額	¥ 132,400		

【支出】

項目		金額	支出内訳	説明事項（用途など）	
助成金の交付対象経費	1 会場使用料	¥ 13,280	4/15 女性センター 研修室 1,080 4/20 女性センター多目的室1 630 5/15 女性センター 研修室 1,040 6/13 女性センター 研修室 1,080 7/1 女性センター多目的室2 630 7/22 女性センター 研修室 1,080 9/5 女性センター多目的室1 630 9/26 女性センター 研修室 1,080 10/12 女性センター 研修室 1,080 10/28 女性センター 研修室 1,080 11/28 女性センター 研修室 1,080 12/1 女性センター多目的室1 630 12/26 女性センター 研修室 1,080 2/8 イベントにつき公用 0 3/2 政策調整課「松戸ブランド」WS開催のため公用 0 3/26 女性センター 研修室 1,080	*女性センター研修室夜間料金 1時間360×3時間 *5/14は昼間料金×4時間 *女性センター多目的室1は1時間210円 *2/8はイベントのため公用で使用料金はなし *3/2はサロンの中で政策調整課依頼でWS開催につき公用で使用料なし	
	2 講演会謝礼金	¥54,000	45,000円*1回 3,000*3回	講師 2/8 西川正氏45,000 10/12加藤公明氏3,000 3/26 阿部剛氏3,000 小熊浩典氏 3,000	
	3. 消耗品費	¥13,590		インク代 ¥10,100 用紙代 ¥3134 付箋 ¥356	
	4. 郵送費	¥ 410		チラシ発送	
	5. 印刷費	¥30,550	会報紙作成分印刷代¥30000 コピー・印刷代¥550	印刷・コピー代	
	対象となる経費合計額	¥ 111,830			
	その他経費	ゲストスピーカー交通費	¥ 840		5月15日サロンのゲスト、福島からの避難者二人への交通費
		茶菓代	¥19,030		サロンでの茶菓代
		コピー代	¥700		(コピー使用証明書などによる)
		その他経費合計額	¥ 20,570		
支出合計額		¥ 132,400			

第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成24年3月28日

松戸市長

住所(所在地)

松戸市馬橋2855マンションニュー松戸407

団体名 NPO法人子どもっとまつど

代表者氏名 理事長 渡辺洋子印



平成23年4月1日付け松戸市指令第277号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

# 活動状況報告書

1. 事業名称 「手と手で話そう Part2」

2. 実施主体

■ 団体名： NPO 法人子どもっとまつど

3. 事業の実施内容

● 「こころ」を「からだ」で伝えよう実施に向けて

日付	作業内容
6月20日	ろうあ協会手話対策部吉田さん、佐塚さんと打ち合わせ
7月6日～11日	会場押さえ、広報用チラシ作成
7月20日	ろうあ協会よりチラシの内容について了承を得る
7月15日	市の広報掲載依頼（7月15日号）
7月21日	協働推進課にチラシの広報依頼

I) 「こころ」を「からだ」で伝えようーワークショップー

8月18日	「こころ」を「からだ」で伝えよう！第1回目ワークショップ、ふれあい22。講師 関内賢二さん。手話通訳1人。参加者子ども7人、大人4人。助手2人。スタッフ3人
8月25日	「こころ」を「からだ」で伝えよう！第2回目ワークショップ、ふれあい22。講師 関内賢二さん。手話通訳1人。参加者子ども7人、大人4人。助手2人。スタッフ3人。

II) 「こころ」を「からだ」で伝えようー手話劇にトライしようー

日時	作業内容
9月11日	手話劇をDVDで鑑賞。イメージづくり。ふれあい22。講師 関内賢二氏。手話通訳1人。参加者子ども7人。大人4人。スタッフ3人。
10月2日	劇のイメージづくり。配役の決定。ふれあい22。講師 関内賢二氏。手話通訳1人。参加者子ども7人。大人4人。スタッフ3人。
10月16日	台本に合わせて練習。イメージづくり。ふれあい22。講師 関内賢二氏。手話通訳1人。参加者子ども7人。大人4人。スタッフ3人。
10月23日	台本に合わせて練習。イメージづくり。ふれあい22。講師 関内賢二氏。手話通訳1人。参加者子ども7人。大人4人。スタッフ3人。

III) 手話劇「聴覚がい者の3・11」の発表（イベント名 主催 会場）

日時	内容
12月4日	「おはなしの広場」主催 松戸子どもの文化連絡会、青少年会館
12月18日	「クリスマス会」主催 松戸市ろうあ協会、八ヶ崎市民センター
1月9日	「デフパペットシアターーはこーの舞台挨拶」 NPO法人子どもっとまつど 市民劇場
3月10日	「市民活動見本市」市民活動見本市実行委員会 市民活動サポートセンター

●講座終了後、手話劇「聴覚障がい者の3・11」発表に向けての練習

日付	作業内容
10月30日	手話劇の練習と大道具づくり、子どもっとまつど事務所。子ども7人、大人4人、スタッフ1人。
11月19日	手話劇の練習と大道具づくり、子どもっとまつど事務所。新しく1世帯参加。子ども9人。大人5人。スタッフ1人。
11月20日	手話劇の練習。柿の木台公園体育館。講師関内賢二氏。子ども9人。大人4人。スタッフ2人。
11月27日	手話劇の練習。柿の木台体育館。講師関内賢二氏。子ども8人。大人3人。スタッフ2人
12月11日	手話劇の練習。柿の木台体育館。講師関内賢二氏。子ども8人。大人3人。スタッフ2人
12月25日	手話で舞台挨拶練習。子どもっとまつど事務所。子ども6人。大人2人。スタッフ1人
12月30日	手話で舞台挨拶練習。子どもっとまつど事務所。子ども6人。大人2人。スタッフ1人
2月12日	手話劇の練習。青少年会館。子ども7人。大人3人。スタッフ1人。
2月19日	手話劇の練習。青少年会館。子ども9人。大人2人。スタッフ1人。
3月3日	手話劇の練習。市民活動サポートセンター。子ども9人。大人2人。スタッフ1人。
3月4日	手話手話劇の練習。青少年会館。講師関内賢二氏。子ども9人。大人3人。スタッフ1人。

\*講座後、劇の発表に向けて11回の練習をした。参加した子どもは延べ78人。大人33人。スタッフ14人となった。

4. 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- ・市内4か所のイベントで「聴覚障がい者の3・11」を発表することが出来た。
- ・東日本大震災と重ね合わせて劇づくりをすることでリアリティーをもって障がい者の置かれている状況を伝えることが出来た。
- ・劇の練習にろうあ協会の関内賢二氏が自発的に指導に参加してくれた。
- ・ろうあ協会の「クリスマス会」に招待され、ろうあ協会との関係も深まった。当日のアンケートからは「子どもたちの手話劇が感動した」との声が一番多くあったと後日報告を受けた。
- ・途中で難聴者家族が新たに参加してくれメンバーが増えた。
- ・1月に実施された舞台公演は、出演者、来場者ともに聴覚障がい者がいる中で手話を使って挨拶をしたことが、子どもたちの自信につながった。
- ・劇の練習を11回重ねる中で子どもたちの団結と意欲が培われ、子どもたちから「手話の本を買ったよ」「もっと手話を覚えたい」「手話の劇で全国をまわりたい」などの声が聞かれた。
- ・手話劇の発表会場では「耳の聞こえない人の気持ちがわかった」「障がい者との関わりある環境で子育てがしたい」との声も聞くことが出来た。

(2) 事業課題の解決について

- ・講座の参加者が伸び悩んだ。会場が不便との声もあり別の会場を検討したい。
- ・講師及び手話通訳の経費を公的助成にたよらない仕組みを考える必要があるが解決策が見つからないのが現状である。

## 5. 今後の事業展開

- ・聴覚障がい者への理解を深める活動（手話で唄う活動など）を継続していく中で、ろうあ協会との関係もより深めていきたい。
- ・今後も講座を盛り込みながらの活動を市内の広域の会場でおこない、子どもの時代に障害者との交流の機会をより多くつくることで、心のバリアを取り除く活動を継続していきたい。

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	参加費	¥ 22,500	¥ 10,500	¥ -12,000	
	団体負担金		¥ 17,262	¥ 17,262	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 22,500	¥ 27,762	¥ 5,262	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	精算額
	資金合計額 (c) (a+b)	¥ 122,500	¥ 127,762		/

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の 交付対象経費	1 広告費	¥ 10,000	¥ 12,300	¥ -2,300	
	2 会場費	¥ 6,000	¥ 2,352	¥ 3,648	
	3 講師謝金	¥ 84,000	¥ 94,820	¥ -10,820	
	4 資材費	¥ 20,000	¥ 18,290	¥ 1,710	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 120,000	¥ 127,762	¥ -7,762	/
その他経費	スタッフ交通費	¥ 2,500		¥ 2,500	
		¥ -	¥ -	¥ -	
	その他経費合計額 (e)	¥ 2,500	¥ -	¥ 2,500	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 122,500	¥ 127,762	¥ -5,262	/

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	-
-----	---	---

団体名 NPO法人子どもとまつど  
 代表者氏名 渡辺 洋子



## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
参加費	¥ 10,500	✓	参加費 1,500円×7(人)
団体負担金	¥ 17,262		
自己資金合計額	¥ 27,762	✓	
市助成金額	¥ 100,000	✓	
収入合計額	¥ 127,762		

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1 広報チラシの印本費	¥ 12,300	✓ 10,000円 2,000円 300円	講座チラシ ポスター コピー
	2 会場使用料	¥ 2,352	✓ 147×16h	手話劇発表の練習会
	3 講師謝金	¥ 42,000	✓ 42,000円	講師6回 7,000円×6 (8月18日・25日・9月11日・10月2日・16日・23日)
	手話通訳料	¥ 52,820	✓ 6,420円 13,240円 13,300円 19,860円	6月20日・2h+交通費(420円) 8月18日・25日・4h+交通費(1,240円) 9月11日・25日・4h+交通費(1,300円) 10月2日・16日・23日・6h+交通費(1,860円) 手話通訳料 3,000円/h
	4 資材費	¥ 18,290	✓ 1,490円 9,000円	文具代 手話劇発表 台本代300円×30
			5,400円 2,400円	テキスト代 150円×30 80円×30
	対象となる経費合計額	¥ 127,762	✓	
その他経費				
	その他経費合計額	¥ -		
支出合計額	¥ 127,762	✓		



第 5 号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成 2 4 年 3 月 1 6 日

松戸市長

住所(所在地)松戸市中和倉 4 1 5

団体名 松戸生活やくだちたい

代表者氏名 広瀬 高志



平成 2 3 年 4 月 1 日付け松戸市指令第 2 7 8 号で交付決定のあつた松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第 1 1 条第 1 項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙 1
- 領収書等 . . . 別紙 2

## 活動状況報告書

1. 事業名称  
生活に役立つ「暮らしとお金」のセミナーと相談会

2. 実施主体  
松戸生活やくだちたい

3. 事業の実施内容

### I ちょっとお得な暮らしとお金のセミナー4の実施

日付	作業内容
1月22日	事業方針・予算を確認→集客方法の多様化、費用の効率化が目標
3月19日	講師決定、チラシ配布と参加者の分析と印刷・配布方法検討
4月22日～	広報まつど入稿(6月1日号)、チラシ発注2500枚依頼 前は3000枚 地域新聞・すまいる情報・日経新聞等13社へ広報依頼
4月26日	封書(38枚)e-mail(15通)で開催案内、→web受付開始 →8人利用
5月6日	市民センター32ヶ所掲示依頼670枚
5月28日	松戸/新松戸Posting1700枚 →6月1日 広報まつど掲載
6月12日(日)	セミナー市民劇場 申込49名 欠席9人 平均受講テーマ数 2.2コマ 評価4.3 相談会 " 相談 4名

### II ちょっとお得な暮らしとお金のセミナー5の実施

日付	作業内容
7月17日	参加者の声からセミナーを60分×4テーマとし、時間を拡大した
8月28日	講師決定
9月7日～	広報まつど入稿(10月15日号)、チラシ発注2000枚依頼 地域新聞・すまいる情報・日経新聞等へ掲載依頼
9月26日	市民センター等32ヶ所掲示依頼670枚
10月1日	はがき(91枚)e-mail(25通)で開催案内 →web受付開始
10月16日	松戸/新松戸Posting1300枚 →10月15日 広報まつど掲載
10月30日(日)	セミナー市民劇場 申込29名 欠席2人 平均受講テーマ数 2.1コマ 評価4.4 相談会 " 相談 6名

### III ちょっとお得な暮らしとお金のセミナー6の実施

日付	作業内容
11月13日	集客検討 hp上に参加者の声を掲載
12月18日	講師決定、前回に加えて定年時代へ掲載依頼
12月21日～	広報まつど入稿(1月15日号)、チラシ発注2000枚依頼
1月16日	地域新聞・すまいる情報・日経新聞・定年時代等へ掲載依頼
1月10日～	市民センター等32ヶ所掲示依頼670枚
1月21日	はがき(105枚)e-mail(27通)で開催案内 →web受付開始
1月29日～	松戸/新松戸Posting1300枚 →2月1日 広報まつど掲載
2月19日(日)	セミナー市民劇場 申込53人 欠席6人 平均受講テーマ数 2.3コマ 評価4.3 相談会 " 相談 8名

IV 出前講座 未実施

#### 4. 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について ※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのか。

平成24年度から助成金事業としてではなく事業ができる目処がたっていることです。

集客の目標、セミナー参加者 20人 / 各回

相談者 10人 / 各回

が見込める集客力・知名度を得ることを目標とします。

また、「松戸のくらしをよくしたい」という志を同じくする松戸市内の他の団体と連携をとり、「年齢・世代に合わせたタイムリーな情報を提供する“出前講座事業の展開を目標とします

- セミナーは、参加者目標は達成している。参加者からは参考になったとの評価を得ている。また、平均2コマのセミナー受講から、複数の領域に関心をもって参加いただいている。さらに、継続の参加者が増えてきていることが最近の特徴で、役立っているのだと感じている。

→セミナー

セミナーテーマ	ライフプラン	4件	リスク管理	2件	資産運用	2件
	不動産	1件	相続	4件	計	13件

参加者 38人/回 3回で平均38人の参加していただいている。

受講コマ数 2コマ/回 参加者は平均2.2コマ受講していただいている。

参加者評価 4.3 5:大変参考になった 4:参考になった . . .

→セミナー受講者プロフィール

受講者数	114名	市内	97人	市外	17人
------	------	----	-----	----	-----

		男性	35人	女性	79人
--	--	----	-----	----	-----

		内 夫婦	3組	子連れ夫婦	2組
--	--	------	----	-------	----

		平均年齢	54歳台		
--	--	------	------	--	--

内リピータ 40名

- 相談会は、回を追う毎に増えてきている。FPに話をする（聞いてもらう）ことで、ちょっとした不安の解消に役立っていると感じている。継続した相談者はいない。

→相談会内容

相談者 6人/回 △ 4→6→8人と増えている。目標の10人には今一步。

相談内容 贈与と相続 遺産分割 医療保険と死亡保険 投資の確定申告 等

→セミナーと相談会については、開催ノウハウが着実に蓄積してきたと感じている。

- 出前講座 市民団体にセミナーの開催の案内をしてきたが、出前講座には結びつかなかった。

→出前講座 0件

##### (2) 事業課題の解決について ※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのか。

生活設計の三大要素は、「生きがい」「健康」「経済（家計）」と言われていますが、この「経済（家計）＝暮らしとお金」について、中立的な立場からの啓発講座や安心して相談できる相談会が非常に少ない現状にあります。

→セミナーと相談会を3回開催できた。リピータが40名いることで認知度もあると思える。

またアンケート結果では、“よかった”、“参考になった”。“目からウロコ”との声も聞こえている。

「生活設計・金融・不動産・税金・保険・相続/事業継承」などについての幅広い知識と経験を持つ、松戸在住・勤務のFP（ファイナンシャル・プランナー）で構成されており、中立的な立場から活動できると考えています。

→セミナー・相談会で特定の商品を進めることはなく中立的な立場で活動できた。

#### 5. 今後の事業展開 ※この事業について、今後どのように展開したいのか。

将来的には、「ワンストップ」機能を持つ総合相談窓口として、情報と支援を必要としている人に、必要なときに必要な情報が提供できる体制作りを目指し、生活者の自助努力による生活改善を支援し、住みよい街づくりを目指していきたいと考えています。

→今後は自主事業として展開を計画する。

22年度から6回の開催経験と、新しく始まった松戸市市民活動団体制度を活用して

今後、自主事業として継続し、「ワンストップ」機能を持つ総合相談窓口として住みよい街づくりを目指していきたい。

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
松戸生活やくだちたい	参加費（セミナーと相談会）	¥ 30,000	¥ 18,000	¥ -12,000	
	出前講座	¥ 60,000	¥ -	¥ -60,000	
	寄付金	¥ 24,000	¥ -	¥ -24,000	
	自己資金合計額（a）	¥ 114,000	¥ 18,000	¥ -96,000	
市	助成金額（b）	¥ 100,000	¥ 95,062	¥ -4,938	精算額
資金合計額（C）（a+b）		¥ 214,000	¥ 113,062		

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	1 セミナー印刷費	¥ 42,000	¥ 38,000	¥ 4,000	
	2 セミナー広告費	¥ 84,000	¥ 1,200	¥ 82,800	
	3 広報活動費	¥ 15,000	¥ 26,987	¥ -11,987	
	4 会場費	¥ -	¥ -	¥ -	
	5 講師代・資料代	¥ 67,500	¥ 40,985	¥ 26,515	
	6 通信費・予備費	¥ 2,500	¥ -	¥ 2,500	
	対象となる経費合計額（d）	¥ 211,000	¥ 107,172	¥ 103,828	
その他経費	セミナー事前打合せ会議室費用	¥ 3,000	¥ 5,890	¥ -2,890	
	その他経費合計額（e）	¥ 3,000	¥ 5,890	¥ -2,890	
事業費（f）（d+e）		¥ 214,000	¥ 113,062	¥ 100,938	

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

精算額	¥	4,938
-----	---	-------

団体名  
代表者氏名

松戸生活やくだちたい  
高瀬高志

## 収支内訳書

## 【収入】

	項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
松戸 生活 やく だち たい	参加費(セミナー収入)	¥ -	1回目0円、 2回目0円、 3回目0円	3回実施のセミナーは無料のため
	参加費(相談会収入)	¥ 18,000	1回目4,000円、 2回目6,000円、 3回目8,000円	相談会1回目4人、2回目6人、3回目8人、 相談料は1人1時間千円
	出前講座	¥ -		
	寄付金	¥ -		
	自己資金合計額	¥ 18,000		
市	助成金	¥ 95,062		対象額(107,172)×0.9
収入合計額		¥ 113,062		

## 【支出】

	項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金 の 交付 対象 経費	1 セミナー印刷費	¥ 38,000	1回目14,000円、 2回目12,000円、 3回目12,000円	両面2色印刷、 1回目セミナー2,500枚、 2,3回目セミナー2,000枚
	2 セミナー広告費	¥ 1,200	広報まつど 0円、 すまいる誌1,200円、 地域新聞0円	広報まつど掲載、市民センターへの掲示、 すまいる誌400円×3回掲載、 地域新聞掲載料は無料
	3 広報活動費	¥ 26,987	1回目7,603円、 2回目10,076円、 3回目9,308円	リピータ、メディアへの案内送付のための切手 代(6,720円)、封筒・消耗品代(525円)、用 紙代(646円)、インク代(8,896円)、ハガキ 代(10,200円)
	4 会場費	¥ -	3回とも会場費0円	全て市民劇場にて実施
	5 講師代・資料代	¥ 40,985	1回目12,500円、 2回目12,000円、 3回目12,000円、 インク代4,485円	1回目は5講座(各50分)、2,3回目は各4講座(各 60分)に変更により講師料は2回目2500円→3000 円とした。なお、資料作成用インク一括購入し た。
	6 通信費・予備費	¥ -		
対象となる経費合計額		¥ 107,172		
その 他 経費	セミナー事前打合せ会議室費用	¥ 5,890	明市民センター5,890円	明市民センター11回使用
		¥ -		
	その他経費合計額	¥ 5,890		
支出合計額		¥ 113,062		



第5号様式

松戸市市民活動実績報告書

平成24年 3月29日

松戸市長

住所(所在地) 松戸市新作 134-5-1-707

団体名 松戸市男女共同参画推進グループ

ファミリーサポート・勇気づけ

代表者氏名 福田 育子



平成23年4月1日付け松戸市指令第 279 号で交付決定のあった松戸市市民活動助成金について、松戸市市民活動助成金交付要綱第11条第1項の規定により、下記のとおり関係書類を添えて実績報告します。

記

(1) 活動状況報告書

(2) 収支決算書

(添付書類)

- 収支内訳書 . . . 別紙1
- 領収書等 . . . 別紙2

## 活動状況報告書

1. 事業名称 健康なこころを育む勇気づけの対応
2. 実施主体
- 団 体 名 : 松戸市男女共同参画推進グループ  
ファミリーサポート・勇気づけ

### 3. 事業の実施内容

#### I 講演会の実施

日付	作業内容
5月11日～12日	事業企画打ち合わせ
5月11日～15日	チラシ印刷、郵送
6月26日	講演会の実施 ゆうまつど 講師福田育子 参加者3人
6月11日～15日	チラシ印刷、郵送
7月17日	講演会の実施 ゆうまつど 講師：和井田節子氏 参加者7人
10月10日～15日	チラシ印刷配布
11月20日	講演会の実施 ゆうまつど 講師：福田育子 参加者1人

#### II 勇気づけの親子関係実践セミナーの実施

日付	作業内容
4月20日(水)	親子関係実践セミナー実施：ちばコープ東葛組合員会館 参加者2人
4月21日(木)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者3人
5月17日(火)	親子関係実践セミナー実施：ちばコープ東葛組合員会館 参加者2人
5月19日(木)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者4人
6月14日(火)	親子関係実践セミナー実施：ちばコープ東葛組合員会館 参加者1人
6月16日(木)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者1人
6月26日(日)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者3人
7月6日(水)	親子関係実践セミナー実施：ちばコープ東葛組合員会館 参加者1人
7月14日(木)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者2人
7月17日(日)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者8人
9月11日(日)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者4人
9月13日(火)	親子関係実践セミナー実施：ちばコープ東葛組合員会館 参加者1人
9月22日(木)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者1人
10月16日(日)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者5人
10月18日(火)	親子関係実践セミナー実施：ちばコープ東葛組合員会館 参加者3人
10月20日(木)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者2人
11月15日(火)	親子関係実践セミナー実施：ちばコープ東葛組合員会館 参加者2人
11月20日(日)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者2人
12月8日(木)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者2人

12月11日(日)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者2人
12月13日(火)	親子関係実践セミナー実施：ちばコープ東葛組合員会館 参加者3人
1月17日(火)	親子関係実践セミナー実施：ちばコープ東葛組合員会館参加希望者が無かった為開催せず
1月15日(日)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者3人
1月19日(木)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者3人
2月14日(火)	親子関係実践セミナー実施：ちばコープ東葛組合員会館 参加者1人
2月16日(木)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者5人
2月19日(日)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者4人
3月15日(木)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者3人
3月18日(日)	親子関係実践セミナー実施：ゆうまつど 参加者8人

#### 4. 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

事業の目的の一つである不登校の保護者の方々に知って頂くことが 不登校生の居場所「ひだまり」の世話人の方が受講して下さったことにより広がりました。「勇気づけの対応」の効果を実感し、我孫子市の不登校の親の会「青空の会」の方々にご紹介下さり、その会でセミナーを企画して下さいました。平成24年4月から実施させて頂くことになりました。

また、平成23年10月に国立女性教育会館で行われたNVECフォーラム2011に於いてこの事業と内容を紹介するワークショップを行い、参加者の方々に関心を示して頂きました。

10月28日(金)、松戸市女性センターで行われた第2回東葛エリア不登校支援団体交流会において「勇気づけの親子関係実践セミナー」について事例提供させて頂きました。

ゆうまつどふえすた2011に於いて房総の会主催の講演会で「勇気づけの対応」について紹介させて頂きました。

平成24年3月18日(日)のセミナーには70代の方3名が参加して下さい、高齢者夫婦向けの勇気づけセミナーの開催を提案して頂きました。

##### (2) 事業課題の解決について

不登校の児童、生徒を持つ保護者の方にこの講座の存在を知って頂き、児童、生徒への対応方法を学んで頂く、という事業課題は入口に差し掛かったという点では50%、広がりにつながった、という点では30%、松戸市内で十分な広報が出来なかった、という点では今後の課題として平成24年度の事業に取り組んでいきたいと考えています。

#### 5. 今後の事業展開

「勇気づけの対応」は精神病理を防ぐ、大切な意味を持っています。

不登校、引きこもり、自殺、うつ病、現在の日本社会で大きな問題となっており、対策のみが論じられている現状です。



妊娠中の育児教室、育児支援に「勇気づけ」という対応があることを行政の方々にも知って頂きたいと思います。練馬区では「子ども家庭支援センター」の一部でこの講座が開かれています。松戸市にも取り入れて頂けるよう 行政に提案していきたいと考えています。

特に下記について検討しております。

- ・効果的な広報活動をする事
- ・保育のあるセミナーの開催
- ・松戸市内で「保育」「教育」「子育て支援」に関わる人々に「勇気づけの対応」を知って頂く機会を積極的に持つこと
- ・平成 25 年度「協働事業」の提案

## 収支決算書

### 【収入】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
申請者	受講料収入	¥ 210,000	¥ 102,500	¥ -107,500	
				¥ -	
				¥ -	
				¥ -	
	自己資金合計額 (a)	¥ 210,000	¥ 102,500	¥ -107,500	/
市	助成金額 (b)	¥ 100,000	¥ 80,319	¥ 19,681	<b>精算額</b>
	資金合計額 (C) (a+b)	¥ 310,000	¥ 182,819		/

### 【支出】

	項目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の 交付対象 経費	1 アドバイサーへの謝礼金	¥ 30,000	¥ 20,000	¥ 10,000	
	2 チラシデザイン料	¥ 15,000	¥ 15,000	¥ -	
	3 チラシ印刷費	¥ 30,000	¥ 36,600	¥ -6,600	
	4会場使用料	¥ 2,604	¥ 364	¥ 2,240	
	5賃借料機材	¥ 14,100	¥ -	¥ 14,100	
	6切手代	¥ 12,080	¥ 5,280	¥ 6,800	
	7本代:貸し代用	¥ 12,000	¥ 12,000	¥ -	
	対象となる経費合計額 (d)	¥ 115,784	¥ 89,244	¥ 26,540	/
その他 経費	講演講師謝礼: 和井田節子氏		¥ 30,000		
	会員打ち合わせ費用		¥ 40,307		
	その他雑費	¥ 194,216	¥ 23,268	¥ 170,948	
	その他経費合計額 (e)	¥ 194,216	¥ 93,575	¥ 100,641	/
	事業費 (f) (d+e)	¥ 310,000	¥ 182,819	¥ 127,181	/

#### 【助成金額(b)チェック項目】

- 1 対象となる経費(d)欄の90%以内
- 2 対象経費については、必ず証拠書類があること。
- 3 決算額は、予算額を超えないこと。

<b>精算額</b>	¥	19,681
------------	---	--------

松戸市男女共同参画推進グループ  
 ファミリーサポート・勇気33隊  
 団体名  
 代表者氏名 福田 育子



## 収支内訳書

## 【収入】

項目	金額	収入内訳	説明事項(用途など)
セミナー受講料	¥ 32,000	2,000円×16人	会場:ちばコープ東葛組合員会館
セミナー受講料	¥ 65,000	1,000円×65人	会場:ゆうまつど
講演受講料	¥ 5,500	500円×11人	会場:ゆうまつど
自己資金合計額	¥ 102,500		
市助成金額	¥ 80,319		
収入合計額	¥ 182,819		

## 【支出】

項目	金額	支出内訳	説明事項(用途など)	
助成金の交付対象経費	1 アドバイサーへの謝礼金	¥ 20,000	10,000円×2	講演会におけるアドバイザー(小泉康子氏、山本知子氏)
	2 チラシデザイン料	¥ 15,000		
	3 チラシ印刷費	¥ 36,600		セミナーの広報用チラシ印刷、講演会広報用チラシ
	4 会場使用料	¥ 364		
	5 賃借料機材			
	6 切手代	¥ 5,280	80円×33×2回分	松戸市内中学校、高校学校カウンセラー宛
	7 本代:貸し出し用	¥ 12,000	1,200円×10冊	貸し出し用書籍「6才まではたっぷり愛して7歳からは見守って」
	対象となる経費合計額	89,244		
その他経費	講演講師謝礼:和井田節子氏	¥ 30,000		7月10日講演会謝礼
	会員打ち合わせ食事代	¥ 40,307		セミナー、講演会打ち合わせ
	その他雑費	¥ 23,268		交通費、講演会講師用食事飲み物代等
	その他経費合計額	¥ 93,575		
支出合計額	182,819			